

# 芦屋市の交通に関する アンケート調査

## 調査結果

令和5年3月



## ■目次

<b>1 調査概要</b>	<b>1</b>
<b>2 調査結果</b>	<b>5</b>
<b>2.1 アンケートの回収状況</b>	<b>5</b>
<b>2.2 回答者属性</b>	<b>5</b>
(1) 年齢	5
(2) 居住地	6
(3) 年齢と居住地	7
(4) 職業	8
(5) 年齢と職業	8
(6) 家族構成	9
(7) 年齢と家族構成	9
(8) 居住地と家族構成	10
(9) 車の保有状況	11
(10) 年齢と車の保有状況	12
(11) 居住地と車の保有状況	13
<b>2.3 普段の移動について</b>	<b>14</b>
(1) 移動の目的・行き先・交通手段	14
1) 単純集計	14
① 移動の目的	14
② 行き先	15
③ 交通手段	16
2) クロス集計	17
① 年齢と行き先	17
② 行き先と移動目的	19
③ 行き先と交通手段	21
④ 移動目的と交通手段	22
⑤ 「通勤・通学」で、目的地を「市外」と回答した人の交通手段	23
⑥ 「通勤・通学」で「鉄道」を使って市外へ行く人の、鉄道以外の交通手段	23
⑦ 「日常的な買物」で、目的地を「市内」と回答した人の交通手段	24
⑧ 「通院」で、目的地を「市内」と回答した人の交通手段	24
⑨ 年齢と移動目的	25
⑩ 職業と移動目的	26
⑪ 年齢と交通手段	27
⑫ 行き先と居住地	28
(2) 現在の移動に関する不安や不満	30
1) 単純集計	30
2) 公共交通を利用しない理由	31
(3) 将来の移動に関する不安	32
1) 単純集計	32
2) クロス集計	33
① 現在の移動に不満は無いが、将来の移動に不安や困ることがある人	33
(4) 不安への対処	34
1) 単純集計	34
2) クロス集計	35
① 「年齢」と「不安への対処」	35
<b>2.4 阪神沿線エリアについて</b>	<b>36</b>
(1) 利用頻度	36
1) 単純集計	36

2) クロス集計.....	37
① 「居住地」と「利用頻度」.....	37
(2) 阪神沿線エリアでの移動に関する不便さ・望むこと.....	39
1) 単純集計.....	39

## **2.5 市内の移動環境に対する意識..... 40**

(1) 市内の移動環境の良くなった点・悪くなった点.....	40
1) 単純集計.....	40
(2) 市内の移動環境について感じていること.....	41
1) 単純集計.....	41

## 1 調査概要

---

### 【調査の目的】

- 芦屋市では平成 29 年度（2017 年度）に「誰もが快適に移動できる交通環境づくりを目指し、交通事業とまちづくりが連携した取組を推進すること」を目的として総合交通戦略を策定し、さまざまな交通施策に取り組んできた。計画策定から 5 年が経過し、これまでの取り組みの評価を行うとともに、交通環境等の変化を踏まえた戦略の中間見直しを行うこととなった。
- 本アンケート調査は、市内にお住まいの方の交通に関する意向を聞き取り、今後の交通施策へと反映させることを目的として実施した。

### 【調査方法】

- 調査対象（下記）に対して、アンケート調査票および返信用封筒を送付し、郵送・インターネットによる回答を依頼した。

### 【調査対象】

- 芦屋市に在住の中学生以上の方（令和 4 年 11 月 1 日現在）より無作為に抽出した 3,000 人を対象に実施。

### 【調査実施期間】

- 令和 4 年 12 月 9 日（金）（アンケート調査票発送日）～令和 4 年 12 月 23 日（金）

### 【調査項目】

- 以下の項目について調査を行った。
  - ・ 普段の移動の目的や移動手段、および移動における不安・不満
  - ・ 将来の移動に関する不安や困りごと、およびそれらへの対応方法
  - ・ 阪神沿線エリアの利用状況、およびそれらのエリアの移動に関する不便さ等
  - ・ 市内の移動環境に対する意識
  - ・ 回答者の属性
- 使用したアンケート調査票を次頁より示す。

〈アンケート調査票 (1/3)〉

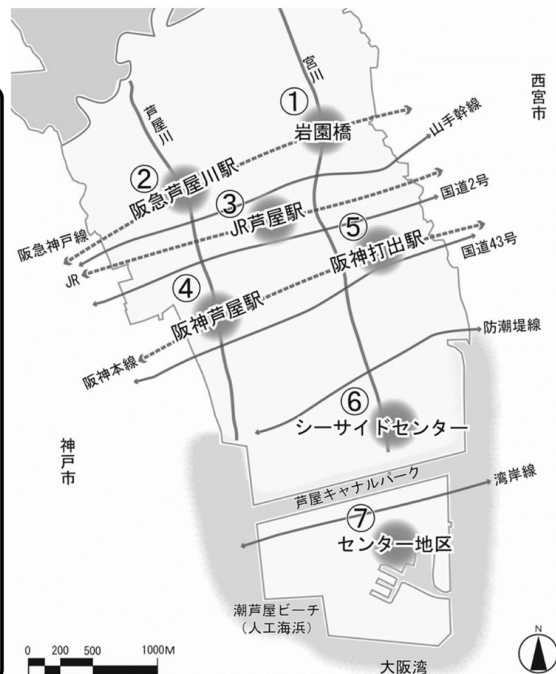
**問1** あなたが普段移動中での目的や移動手段についてお尋ねします。 

1) 日常の外出についてお答えください。(頻度が高いものから2つ)


	移動の目的 (1つ選んで○)	行き先 (1つ選んで○)	交通手段 (あてはまるもの全てに○)
1 つ 目	①通勤・通学 ②日常的な買物 ③通院 ④趣味・娯楽・レジャー ⑤その他	①市外 ②市内 ↓ 【具体的な場所をお答えください】 ①岩園橋周辺 ②阪急芦屋川駅周辺 ③JR芦屋駅周辺 ④阪神芦屋駅周辺 ⑤阪神打出駅周辺 ⑥シーサイドセンター周辺 ⑦センター地区(潮芦屋)周辺 ⑧その他( )	①徒歩 ②自転車 ③路線バス ④鉄道(阪急芦屋川駅) ⑤鉄道(JR芦屋駅) ⑥鉄道(阪神芦屋駅) ⑦鉄道(阪神打出駅) ⑧鉄道(その他: 駅) ⑨タクシー ⑩バイク ⑪クルマ(自分で運転) ⑫クルマ(送迎してもらう) ⑬その他( )
2 つ 目	①通勤・通学 ②日常的な買物 ③通院 ④趣味・娯楽・レジャー ⑤その他	①市外 ②市内 ↓ 【具体的な場所をお答えください】 ①岩園橋周辺 ②阪急芦屋川駅周辺 ③JR芦屋駅周辺 ④阪神芦屋駅周辺 ⑤阪神打出駅周辺 ⑥シーサイドセンター周辺 ⑦センター地区(潮芦屋)周辺 ⑧その他( )	①徒歩 ②自転車 ③路線バス ④鉄道(阪急芦屋川駅) ⑤鉄道(JR芦屋駅) ⑥鉄道(阪神芦屋駅) ⑦鉄道(阪神打出駅) ⑧鉄道(その他: 駅) ⑨タクシー ⑩バイク ⑪クルマ(自分で運転) ⑫クルマ(送迎してもらう) ⑬その他( )

2) 現在の移動について、不安や不満がありますか。また、公共交通を利用しない方は、その理由があればお書きください。

(記入例：歩道が狭い、坂道が多い、運賃が高い、駅までが遠い、バスの本数が少ない、タクシー待ちが長い、家族等に送迎を頼むのが申し訳ない、駐輪場が使いにくい、交通マナーが悪い、乗り方がよくわからない、案内がわかりにくい…等)



〈アンケート調査票 (2/3)〉

**問2** おおむね10年後のあなたの将来を想像してお答えください。 

1) 将来の移動について不安や困ることはありますか。あれば下記にお書きください。

(記入例：免許返納や車を手放し交通手段がない、徒歩での移動が困難になる、新たに車が必要、運賃が高い、鉄道やバスの便や路線の減…など)

2) その不安や困りごとをどうしようと思いますか。

(記入例：親族に送迎してもらう、駅や商業施設の近くへ引っ越す、宅配サービスを利用する、タクシーを利用する、健康に気を付ける、自転車や徒歩での移動でまかなう、考えていない、わからない…など)

**問3** 阪神本線の駅やその周辺での移動やまちについてお尋ねします。 

1) あてはまるところに○をしてください。

	ほぼ毎日	週に数回	月に数回	年に数回	ほぼない
鉄道（阪神芦屋駅）を利用					
鉄道（阪神打出駅）を利用					
沿線での買物や食事、通院など					
沿線での散歩や散策					
市役所、警察署、体育館など公共施設での用事					
その他（ ）					

2) このエリアにおいて、移動に関する不便さや望むことなどはありますか。あれば、どのようなことかお書きください。

(記入例：バスの本数が少ない、踏切での待ち時間が長い、駐輪場が使いにくい、駅周辺の道路が狭く通行しにくい、自転車が走りにくい、歩いていて休憩できるスペースがもっと欲しい…など)



↑  
↓

〈アンケート調査票 (3/3)〉

**問4** 市内の移動環境に対する皆さんの意識をお尋ねします。

1)この5年程度で、市内の移動環境がよくなったと感じますか。どちらか1つ、お選びください。

- ①どちらかといえばよくなった      ②どちらかといえば悪くなった

具体的によくなった点や悪くなった点があれば、お書きください。

2)市内の移動環境について感じていることをご自由にお書きください。

**問5** あなたご自身についてお答えください。

〈年齢〉

- ①20歳未満    ②20～29歳    ③30～39歳    ④40～49歳    ⑤50～59歳  
⑥60～64歳    ⑦65～69歳    ⑧70～74歳    ⑨75歳以上

〈居住地〉※街区番号までお答えください

芦屋市 (                      ) 町 (                      ) 番

〈職業〉

- ①営業主・自由業（弁護士・開業医・個人教師等）等    ②正社員・パート・アルバイト・派遣社員等  
③専業主婦・主夫    ④学生    ⑤無職    ⑥その他（                      ）

〈家族構成〉

- ①単身    ②夫婦のみ    ③親と子（2世代、自分が親）    ④親と子（2世代、自分が子）  
⑤親、子、孫（3世代、自分が親）    ⑥親、子、孫（3世代、自分が子）  
⑦親、子、孫（3世代、自分が孫）    ⑧その他（                      ）

〈車の保有〉

- ①自分が自由に利用できるクルマがある      ②家族で利用できるクルマがある  
③世帯にクルマはない

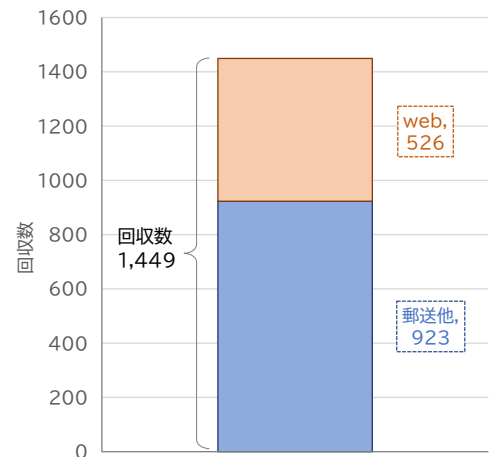
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。



## 2 調査結果

### 2.1 アンケートの回収状況

- 3,000名を対象としてアンケート調査票を配布し、1,449名から回答いただくことができた（回収率：48.3%）。
- 「郵送他」で回答した方が923名、「web」で回答した方が526名であり、郵送で回答した方が全体の6割程度を占めていた。



※「郵送他」は、郵送での受け取りの他、窓口等での受け取りを含む

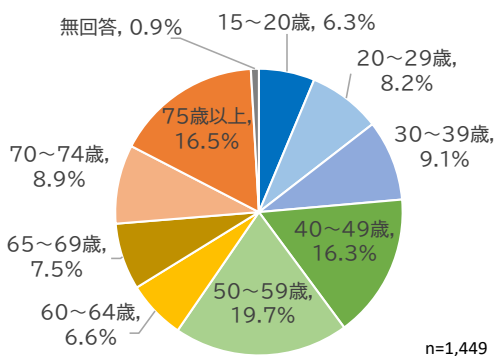
### 2.2 回答者属性

#### (1) 年齢

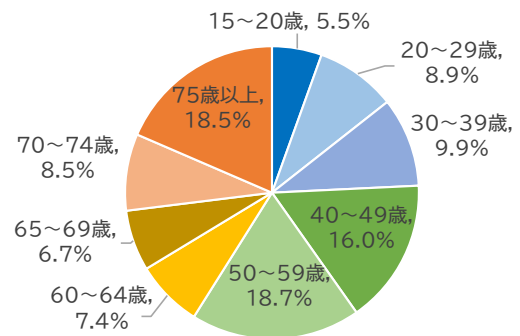
##### <結果の概要>

- 回答者のうち、最も比率が大きかったのは50～59歳の方であった。
- 各年齢層の方から回答をいただいております、広く市民の意見を反映したアンケート結果となったと考えられる。

年齢層	アンケート回答者
15～20歳	91
20～29歳	119
30～39歳	132
40～49歳	236
50～59歳	285
60～64歳	96
65～69歳	109
70～74歳	129
75歳以上	239
無回答	13



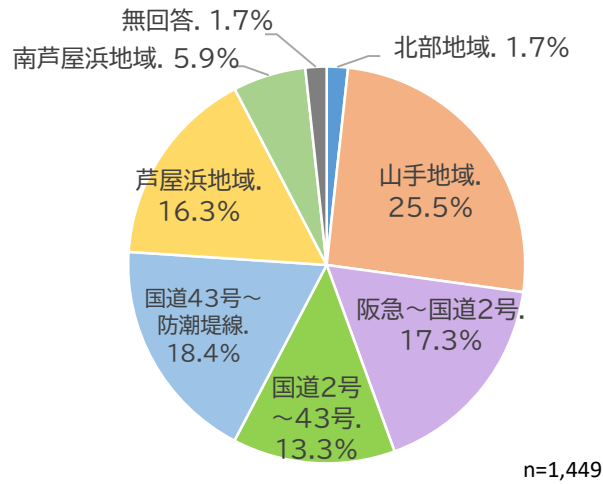
##### <参考：芦屋市全体の年齢構成>



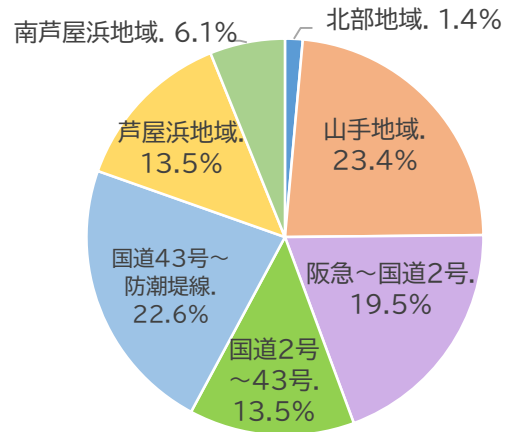
(2) 居住地域

<結果の概要>

- 芦屋市内を南北方向7地域に分け、各地域の回答者数を集計した。
- 回答者の割合は、市全体の人口構成に概ね近い比率となっていた。
- 回答者のうち最も多かったのは山手地域在住の方であり、最も少なかったのは北部地域在住の方であった。



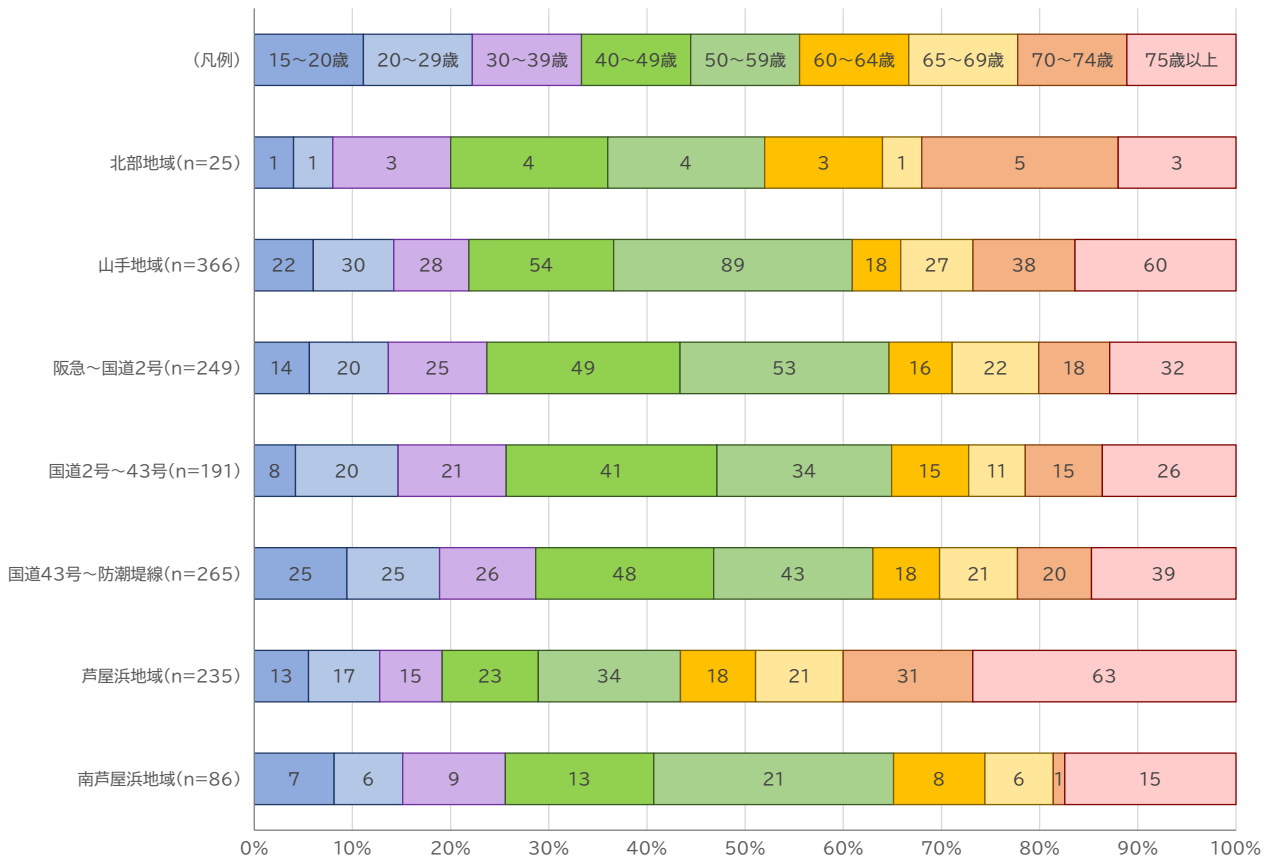
<参考：芦屋市の地域別人口構成>



(3) 年齢と居住地

〈結果の概要〉

○「芦屋浜地域」に居住している回答者の年齢は他の地域と比較して高く、60歳以上の方が5割以上を占めていた。



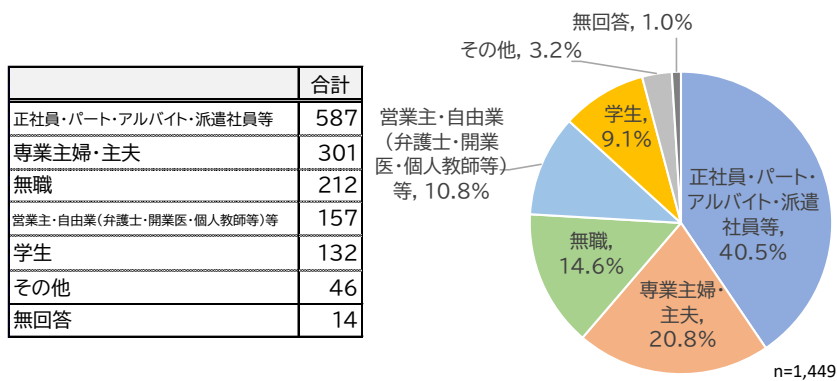
※図中の数字は回答数を示す。

※無回答を除いてグラフを作成している。

(4) 職業

〈結果の概要〉

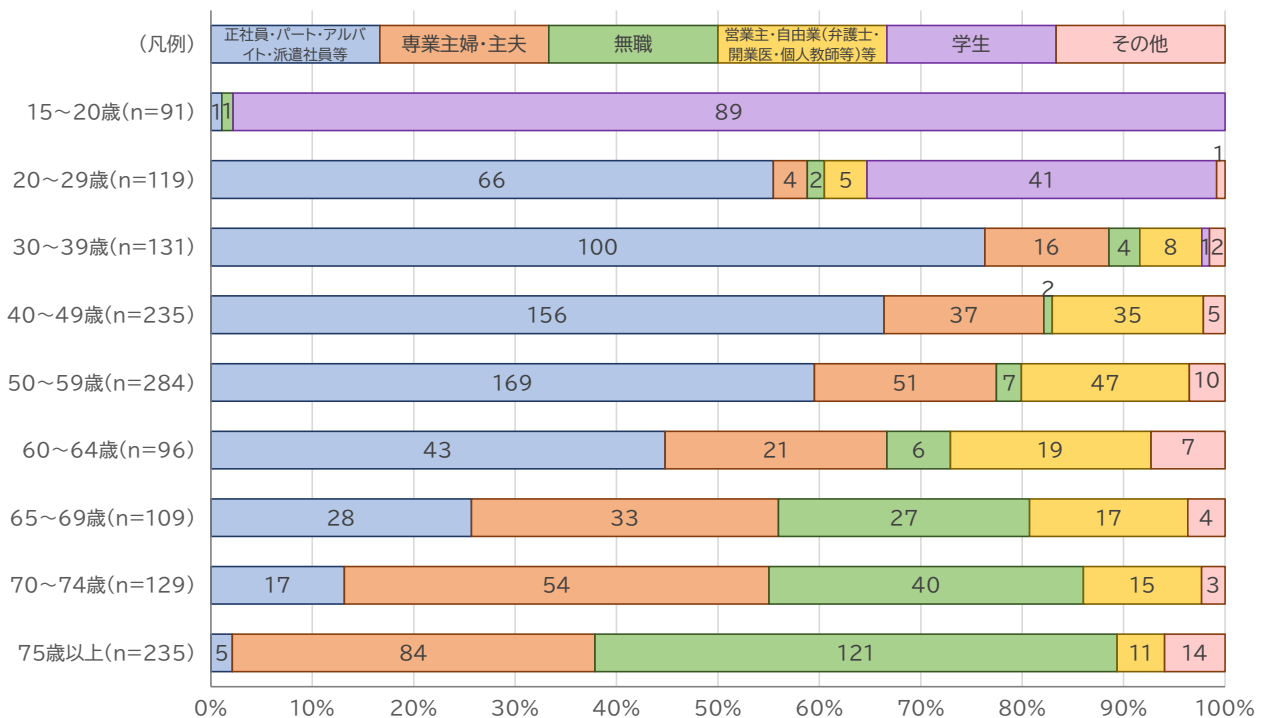
○「正社員・パート・アルバイト・派遣社員等」と回答した方が4割程度を占めていたものの、「学生」「専業主婦・主夫」などさまざまな方から回答いただいております、広く市民の意見を反映したアンケート結果となったと考えられる。



(5) 年齢と職業

〈結果の概要〉

○15～20歳の大半の回答者は学生であった。  
○職業が「正社員・パート等」である回答者は30～39歳で最も割合が大きくなっており、年齢が上がるほど小さくなっていった。その一方で「専業主婦・主夫」「無職」等の割合が大きくなっていった。

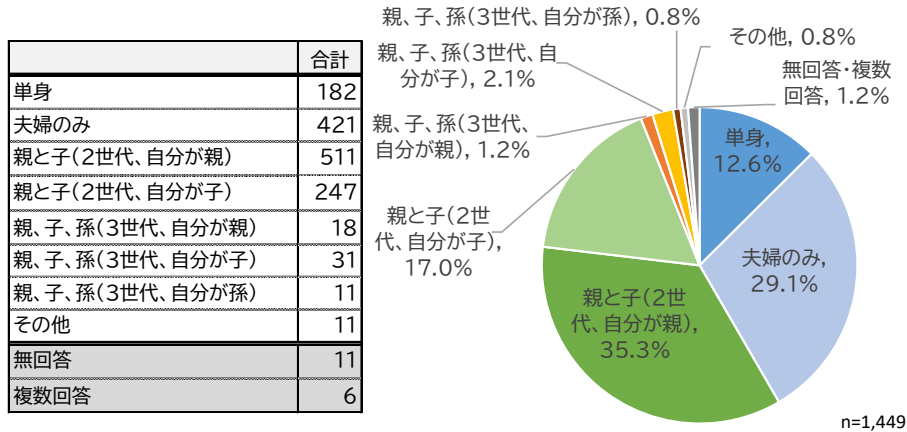


※図中の数字は回答数を示す。  
※無回答を除いてグラフを作成している。

(6) 家族構成

<結果の概要>

- 家族構成について、2世代と回答した方が半数程度を占めていた。
- 3世代と回答した方は5%以下であり、回答者の中ではごく少数であった。

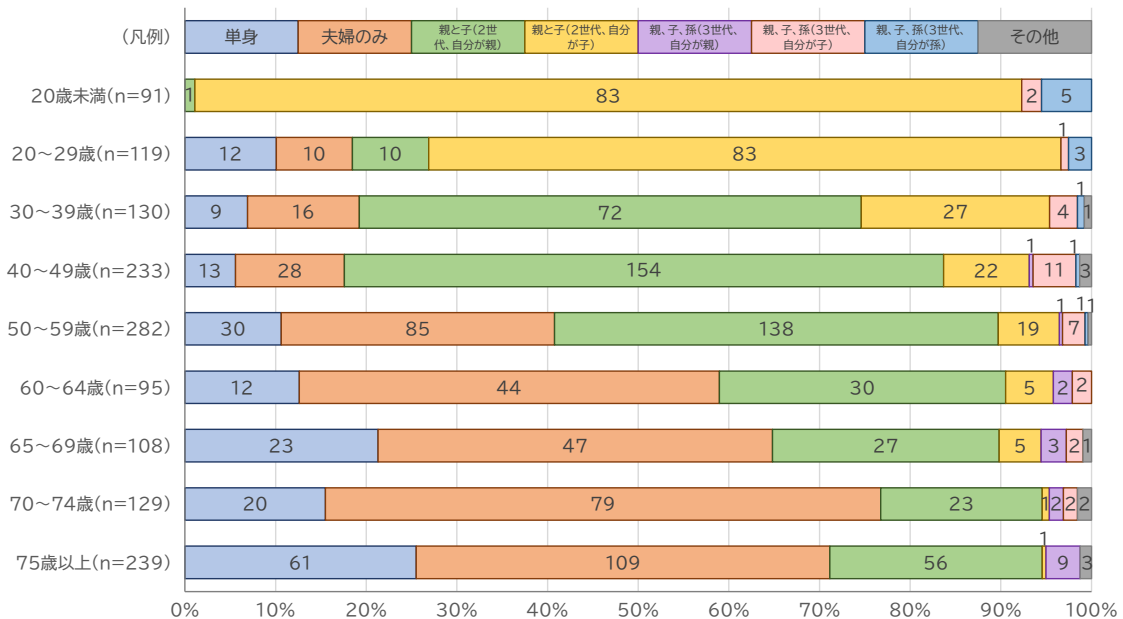


※複数回答については無効とし、無回答と同様に扱った。

(7) 年齢と家族構成

<結果の概要>

- 回答者のうち、40代より低い年齢の大半は2世代(回答者が親または子)の世帯になっていた。
- 60代以上では、「単身」「夫婦のみ」の世帯の割合が大きく、70代以上では7割を上回っていた。



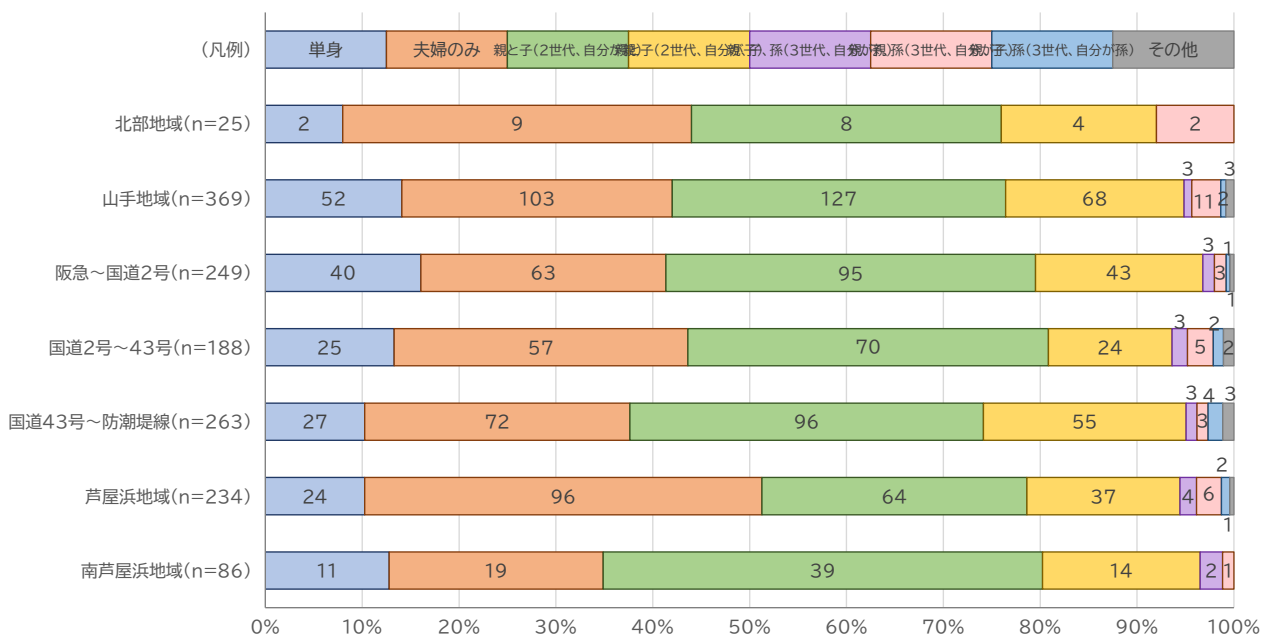
※図中の数字は回答数を示す。

※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

(8) 居住地と家族構成

〈結果の概要〉

○特に「芦屋浜地域」で「単身」「夫婦のみ」で居住していると回答する方の割合が5割以上であった。



※図中の数字は回答数を示す。

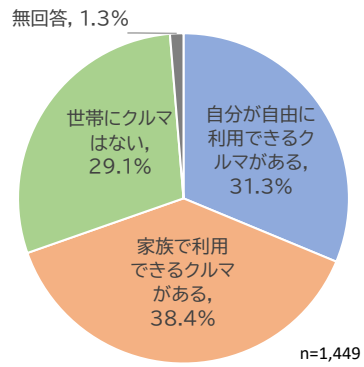
※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

(9) 車の保有状況

<結果の概要>

○7割程度の方が車を保有しており、多くの方は自家用車を利用しながら生活していると考えられた。

	合計
自分が自由に利用できるクルマがある	453
家族で利用できるクルマがある	556
世帯にクルマはない	421
無回答	19



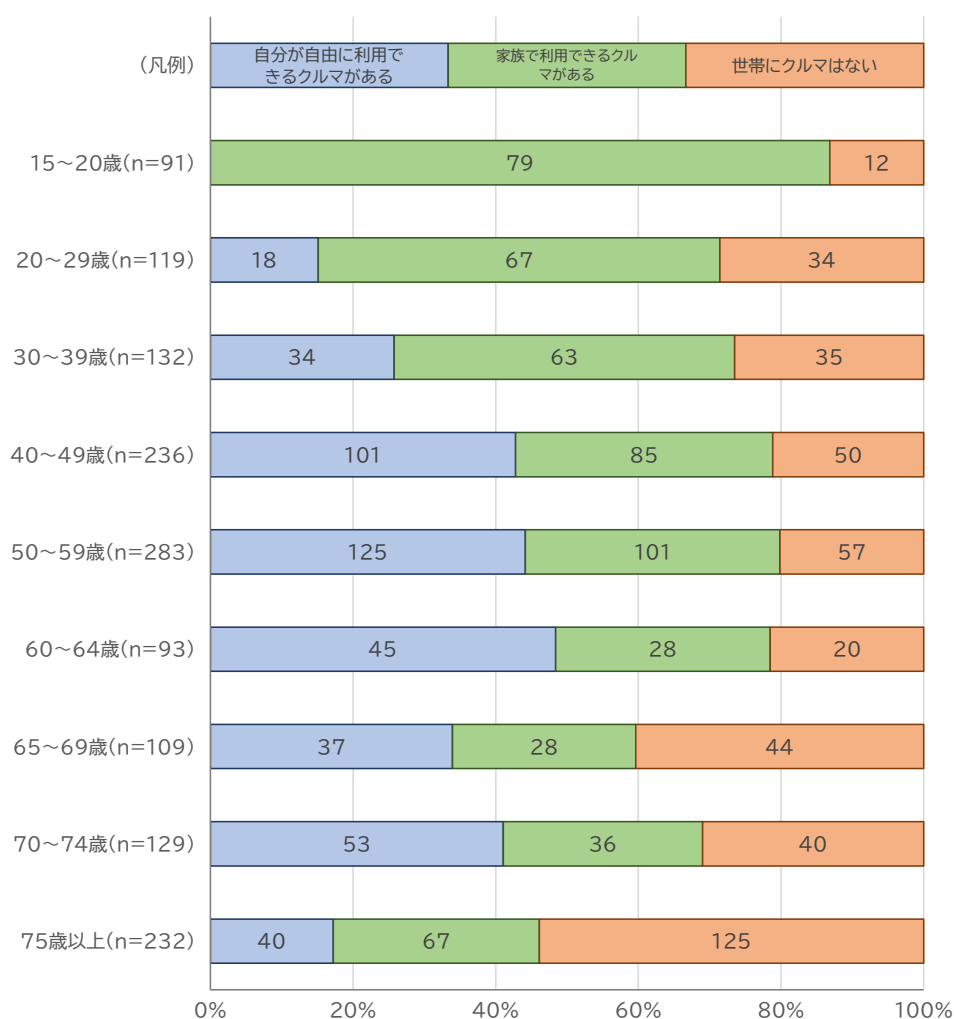
(10) 年齢と車の保有状況

〈結果の概要〉

○15～20歳の回答者について、「自分で自由に利用できるクルマがある」と回答した方はいなかったものの、「家族で利用できるクルマがある」と回答した方を含めると世帯での自動車保有率は最も高くなっていた。

○65歳以上の回答者についてはそれ以下の年齢と比較して「世帯にクルマはない」と回答した方が多くなっていた。

○75歳以上の回答者について、2割程度の方は「自分が自由に利用できるクルマがある」と回答しており、高齢になっても運転を続ける方が一定数いると考えられた。



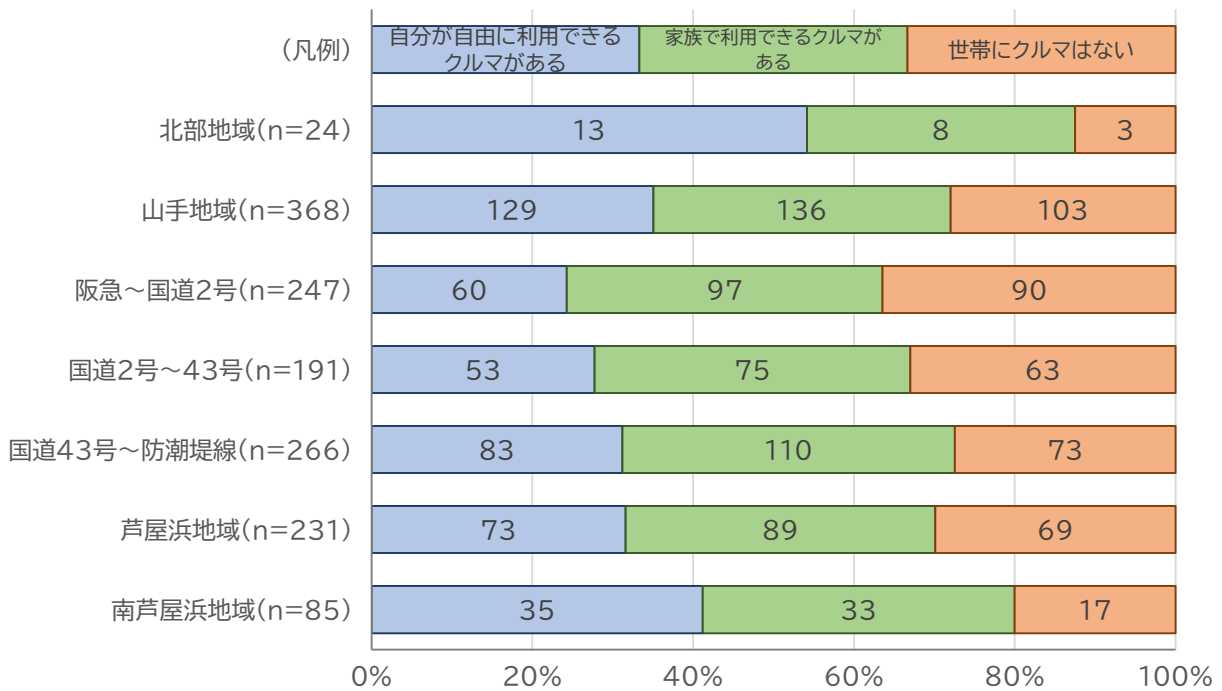
※図中の数字は回答数を示す。  
※無回答を除いてグラフを作成している。



(11) 居住地と車の保有状況

〈結果の概要〉

○北部地域、南芦屋浜地域では自動車の保有状況が高くなる傾向が見られた。



※図中の数字は回答数を示す。  
※無回答を除いてグラフを作成している。

## 2.3 普段の移動について

### (1) 移動の目的・行き先・交通手段

#### 【質問内容】

■日常の外出について、移動の目的・行き先・交通手段をお答えください。(頻度の高いものから2つ)

(移動の目的) ①通勤・通学 ②日常的な買物 ③通院 ④趣味・娯楽・レジャー ⑤その他

(行き先) ①市外 ②市内

⇒ (市内の場合の行き先) ①岩園橋周辺 ②阪急芦屋川駅周辺 ③JR 芦屋駅周辺

④阪神芦屋駅周辺 ⑤阪神打出駅周辺 ⑥シーサイドセンター周辺

⑦センター地区(潮芦屋)周辺 ⑧その他

(交通手段) ①徒歩 ②自転車 ③路線バス ④鉄道(阪急芦屋川駅) ⑤鉄道(JR 芦屋駅)

⑥鉄道(阪神芦屋駅) ⑦鉄道(阪神打出駅) ⑧鉄道(その他市外の駅)

⑨タクシー ⑩バイク ⑪クルマ(自分で運転) ⑫クルマ(送迎してもらう) ⑬その他

※「移動の目的」「行き先」は単一回答、「交通手段」は複数回答

#### 1) 単純集計

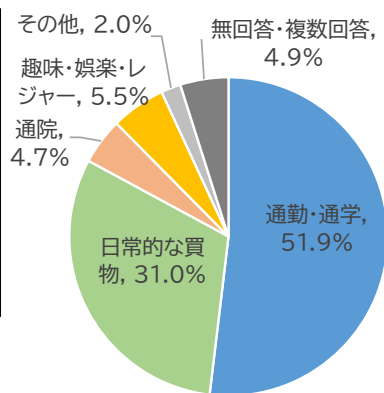
##### ① 移動の目的

#### 〈結果の概要〉

○1つ目の移動の目的として「通勤・通学」「日常的な買物」を、2つ目の目的として「日常的な買物」「趣味・娯楽・レジャー」と回答する方が多く、これらが回答者の主要な移動目的であると考えられた。

#### 〈1つ目の移動の目的〉

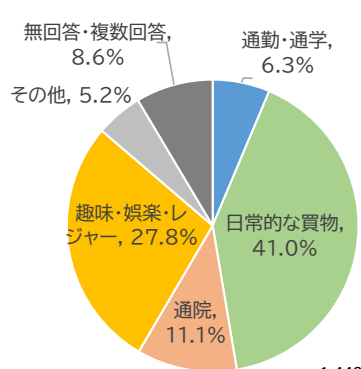
	合計
通勤・通学	752
日常的な買物	449
通院	68
趣味・娯楽・レジャー	80
その他	29
無回答	11
複数回答	60



n=1,449

#### 〈2つ目の移動の目的〉

	合計
通勤・通学	92
日常的な買物	594
通院	161
趣味・娯楽・レジャー	403
その他	75
無回答	77
複数回答	47



n=1,449

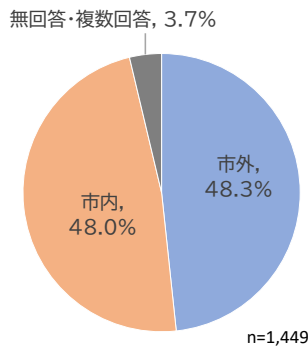
② 行き先

〈結果の概要〉

○1 つ目の移動の行き先として「市内」と回答した方は「市外」と回答した方と同程度であったが、2 つ目の移動の行き先では「市内」と回答した方が「市外」と回答した方を上回った。  
○市内の行き先としては、JR 芦屋駅周辺と回答した方が 4 割以上を占めていた。

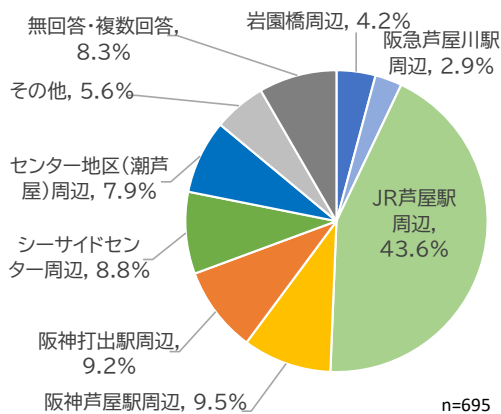
〈1 つ目の移動の行き先〉

	合計
市外	700
市内	695
無回答	11
複数回答	43



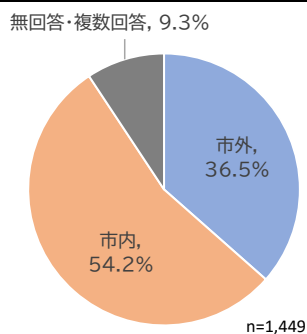
・市内の場合の行き先

	合計
岩園橋周辺	29
阪急芦屋川駅周辺	20
JR 芦屋駅周辺	303
阪神芦屋駅周辺	66
阪神打出駅周辺	64
シーサイドセンター周辺	61
センター地区(潮芦屋)周辺	55
その他	39
無回答	7
複数回答	51



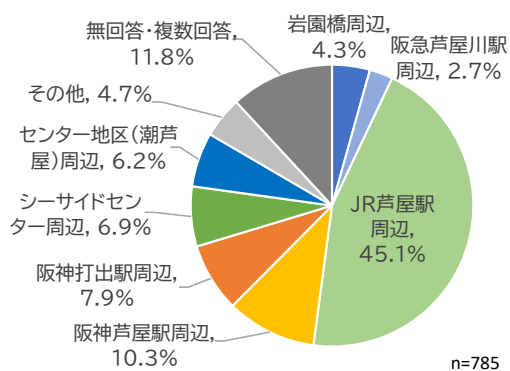
〈2 つ目の移動の行き先〉

	合計
市外	529
市内	785
無回答	93
複数回答	42



・市内の場合の行き先

	合計
岩園橋周辺	34
阪急芦屋川駅周辺	21
JR 芦屋駅周辺	354
阪神芦屋駅周辺	81
阪神打出駅周辺	62
シーサイドセンター周辺	54
センター地区(潮芦屋)周辺	49
その他	37
無回答	36
複数回答	57



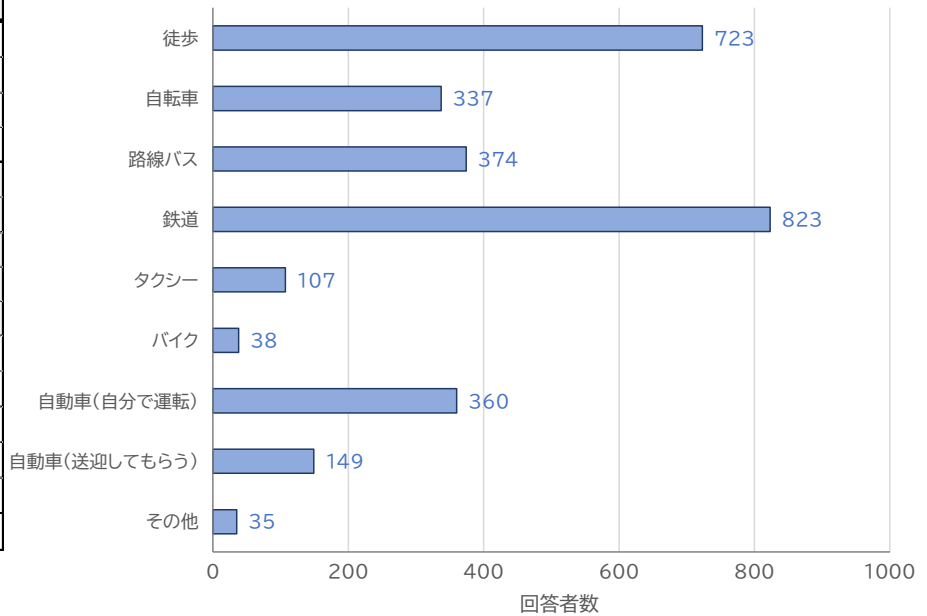
### ③ 交通手段

#### 〈結果の概要〉

○1つ目の移動、2つ目いずれの移動においても、「徒歩」「鉄道」を交通手段として回答する方が多かった。

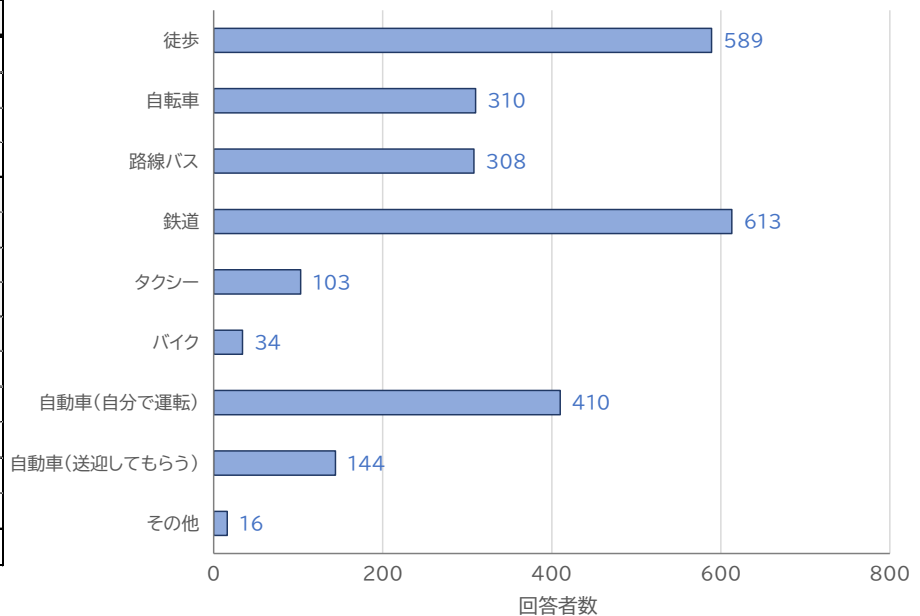
#### 〈1つ目の移動の交通手段（複数回答）〉

	合計
徒歩	723
自転車	337
路線バス	374
鉄道	823
鉄道(阪急芦屋川駅)	137
鉄道(JR芦屋駅)	330
鉄道(阪神芦屋駅)	183
鉄道(阪神打出駅)	129
鉄道(その他市外の駅)	44
タクシー	107
バイク	38
自動車(自分で運転)	360
自動車(送迎してもらう)	149
その他	35
無回答	7



#### 〈2つ目の移動の交通手段（複数回答）〉

	合計
徒歩	589
自転車	310
路線バス	308
鉄道	613
鉄道(阪急芦屋川駅)	114
鉄道(JR芦屋駅)	236
鉄道(阪神芦屋駅)	130
鉄道(阪神打出駅)	112
鉄道(その他市外の駅)	21
タクシー	103
バイク	34
クルマ(自分で運転)	410
クルマ(送迎してもらう)	144
その他	16
無回答	84



2) クロス集計

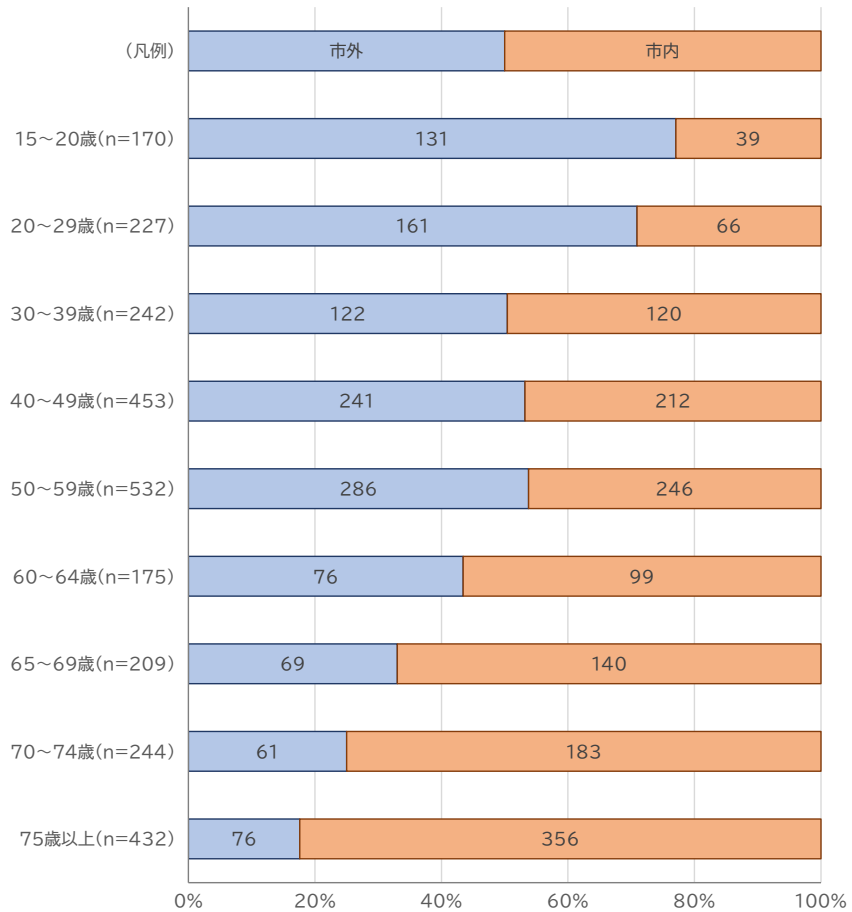
① 年齢と行き先

〈結果の概要〉

- 年齢が低いほど市外への移動が多く、年齢が上がるにつれて市内への移動の割合が増加する傾向が見られた。
- また、30～39歳の方では20～29歳と比較して市内への移動の割合が顕著に増加する様子が見られた。

〈年齢と行き先〉

(1つ目と2つ目の合計)

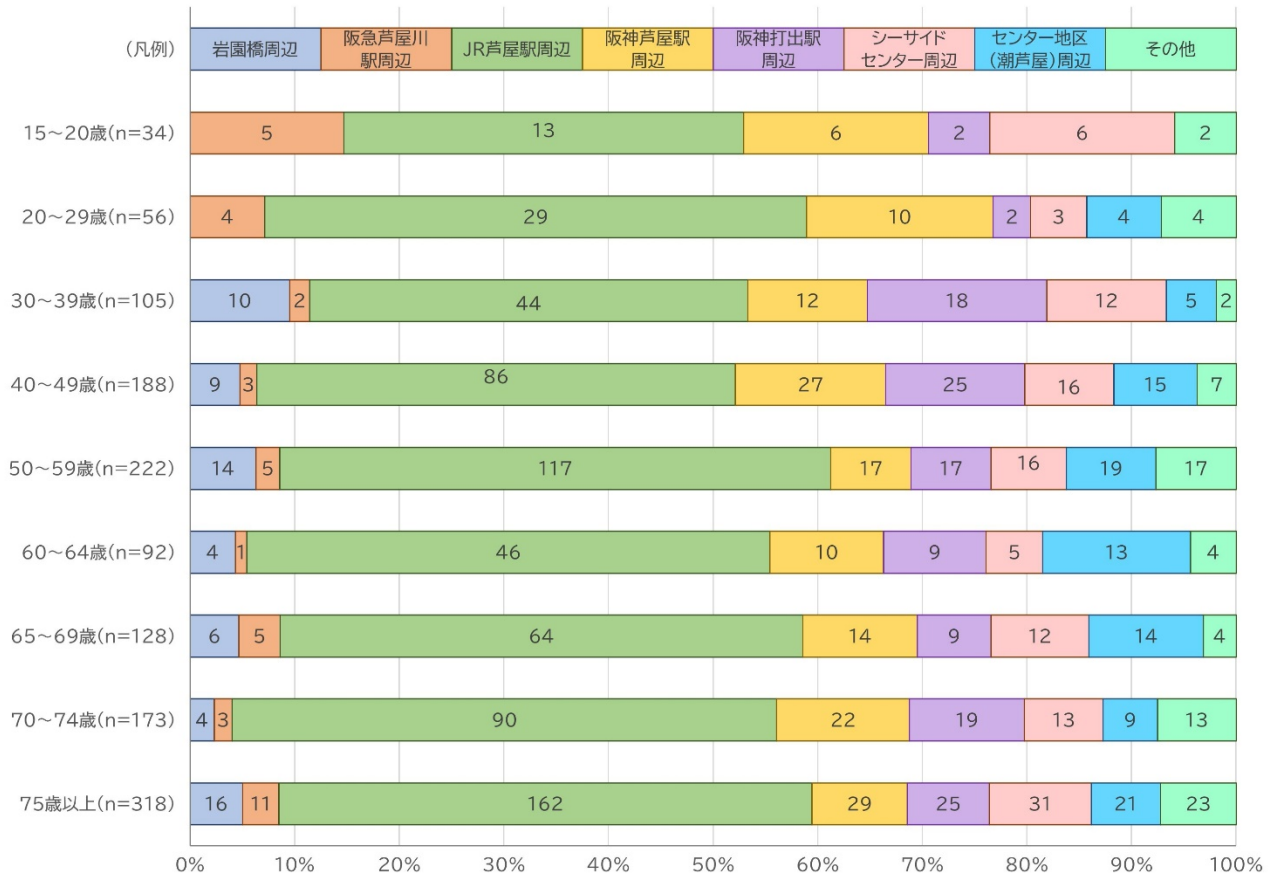


※図中の数字は回答数を示す。  
※無回答・複数回答を除いて  
グラフを作成している。

〈結果の概要：市内の具体的な行き先〉

○年齢を問わず「JR 芦屋駅周辺」へ外出する割合が高かった。

〈年齢と市内の具体的な行き先〉（1つ目と2つ目の合計）



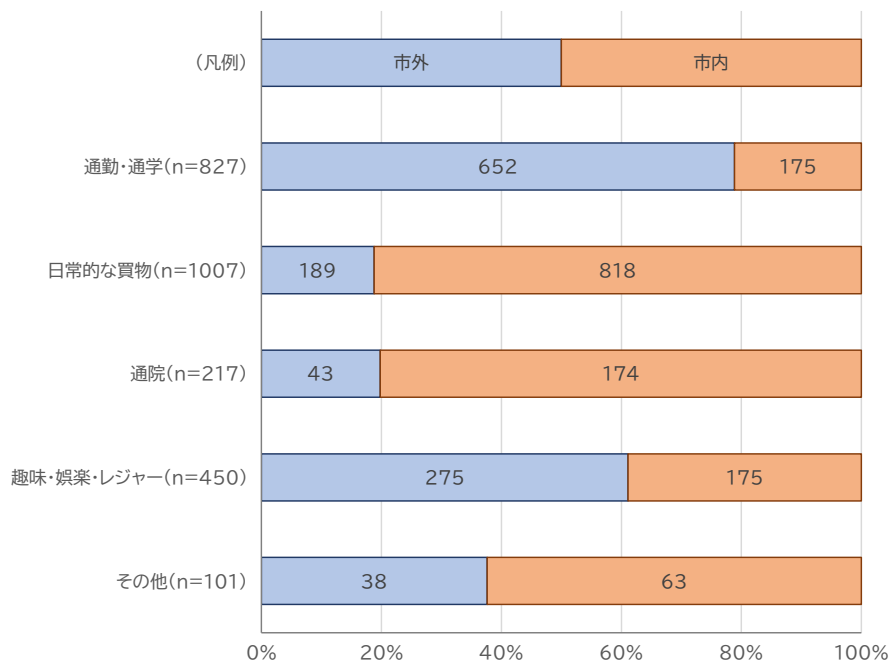
※図中の数字は回答数を示す。  
※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

② 行き先と移動目的

〈結果の概要〉

- 「通勤・通学」「趣味・娯楽・レジャー」を目的とする移動については市外へと移動する割合が高かった。
- 市内への移動については、「日常的な買物」「通院」等を目的として移動する割合が高かった。

〈行き先と移動目的（1つ目と2つ目の合計）〉

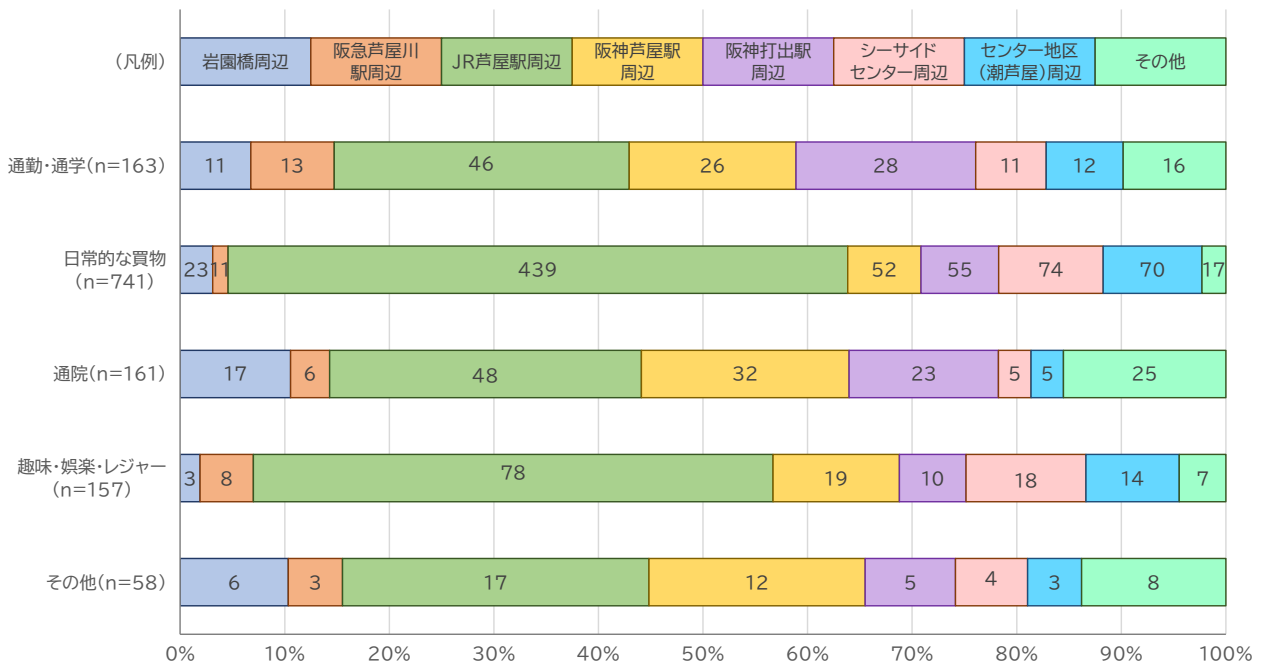


※図中の数字は回答数を示す。  
※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

〈結果の概要：市内の具体的な行き先〉

○特に「日常的な買物」「趣味・娯楽・レジャー」を目的として「JR 芦屋駅周辺」へと外出する割合が高かった。

〈市内の具体的な行き先と移動目的（1つ目と2つ目の合計）〉



※図中の数字は回答数を示す。

※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

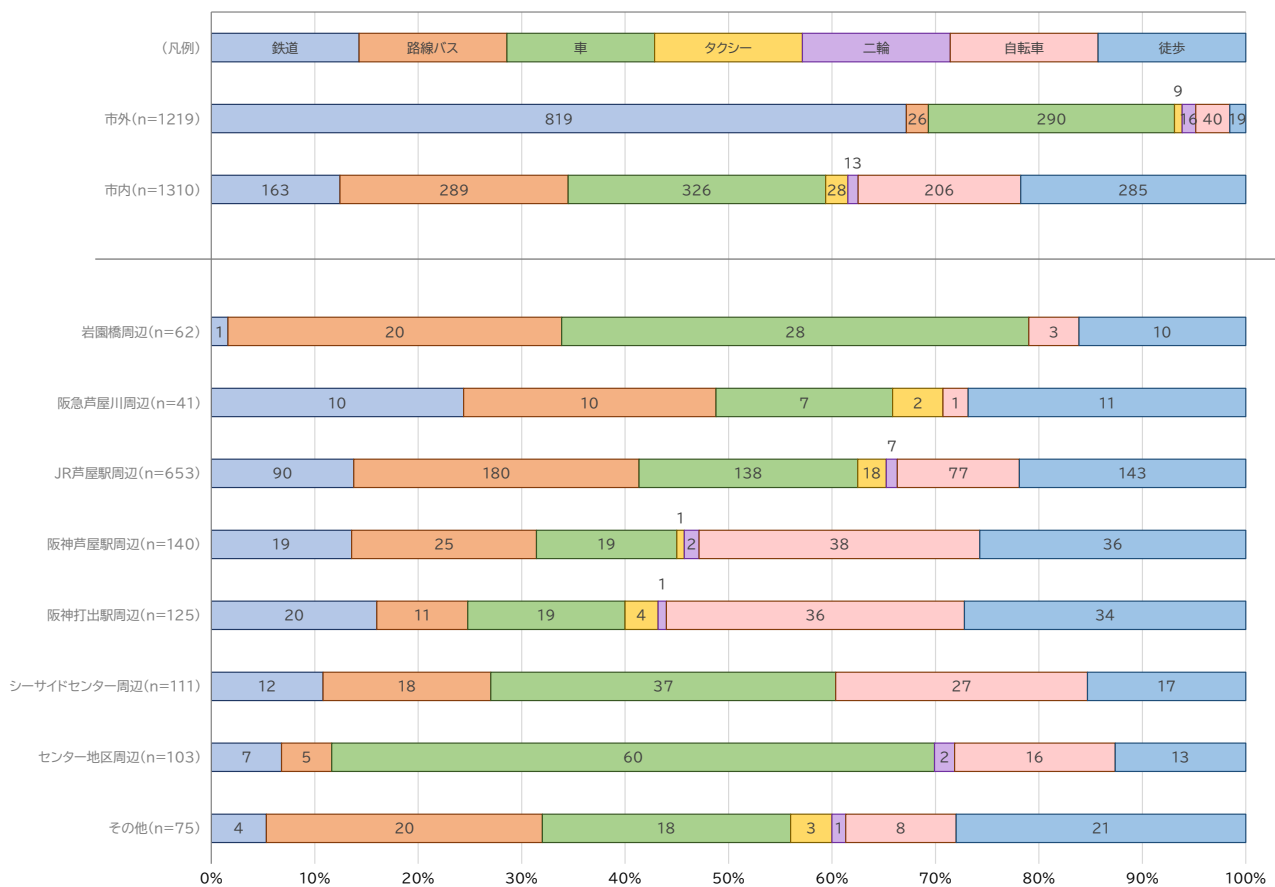


### ③ 行き先と交通手段

#### 〈結果の概要〉

- 「市外」へ移動する交通手段として、「鉄道」の割合が特に高かった。
- 「岩園橋周辺」「センター地区周辺」等、鉄道駅から離れた場所への交通手段は、他の行き先と比較して「車」の割合が高かった。
- 「阪神芦屋駅周辺」「阪神打出駅周辺」「シーサイドセンター周辺」への交通手段では、他の行き先と比較して、「自転車」の割合が高かった。

#### 〈行き先と交通手段（1つ目と2つ目の合計）〉



※集計は、代表交通手段による。

※代表交通手段 交通手段には、鉄道、路線バス、車、二輪（自動二輪車・原付）、自転車、徒歩、その他（飛行機や船など）があり、1つのトリップの中でいくつかの交通手段を用いている場合は主な交通手段を代表交通手段としている。鉄道→路線バス→車→二輪（自動二輪車・原付）→自転車→徒歩の順で、最も優先順位の高いものをいう。

※「車」には、「自分で運転」「送迎してもらう」の両方を含む。

※図中の数字は回答数を示す。

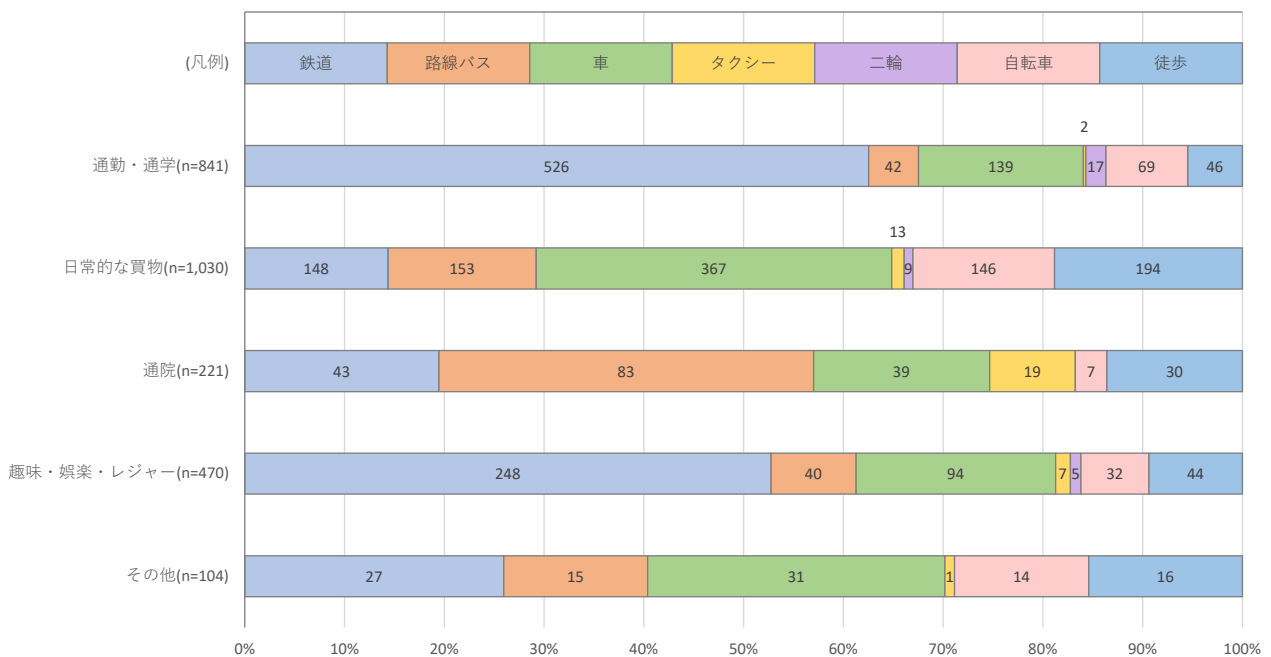
※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

④ 移動目的と交通手段

〈結果の概要〉

- 「通勤・通学」「趣味・娯楽・レジャー」に用いる交通手段として、他の移動目的と比較して「鉄道」の割合が高かった。
- 「日常的な買物」に用いる交通手段として、他の移動目的と比較して「車」の割合が高かった。

〈移動目的と交通手段（1つ目と2つ目の合計）〉



※集計は、代表交通手段による。

※「車」には、「自分で運転」「送迎してもらう」の両方を含む。

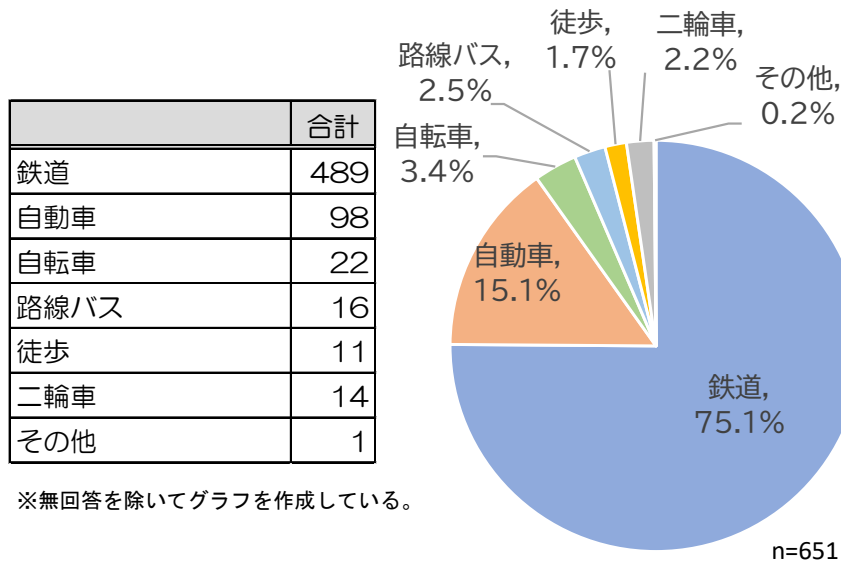
※図中の数字は回答数を示す。

※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

⑤ 「通勤・通学」で、目的地を「市外」と回答した人の交通手段

〈結果の概要〉

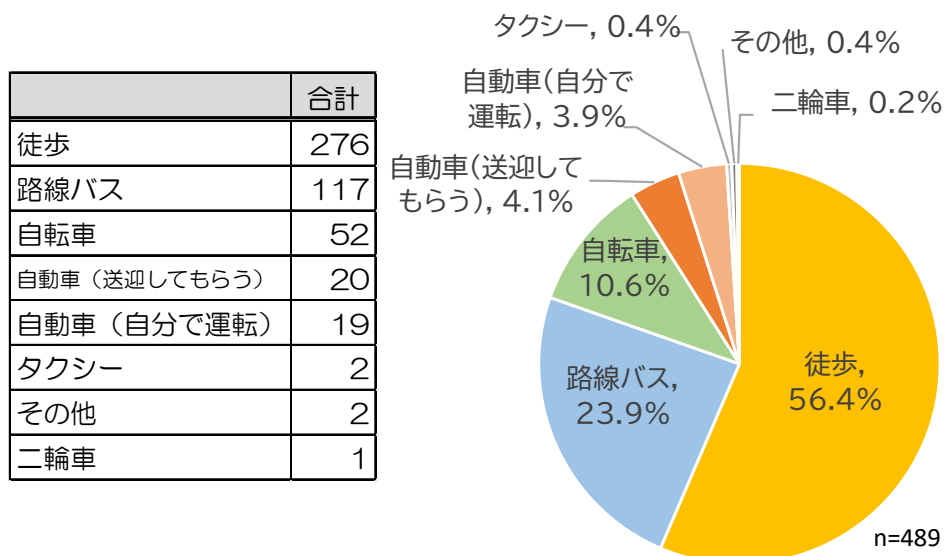
- 「通勤・通学」の目的で市外へ行く人のうち、75%が鉄道を利用していた。
- 次に多い交通手段は自動車での移動であり、回答した98人のうち、「自分で運転」と答えた人が92人いた。



⑥ 「通勤・通学」で「鉄道」を使って市外へ行く人の、鉄道以外の交通手段

〈結果の概要〉

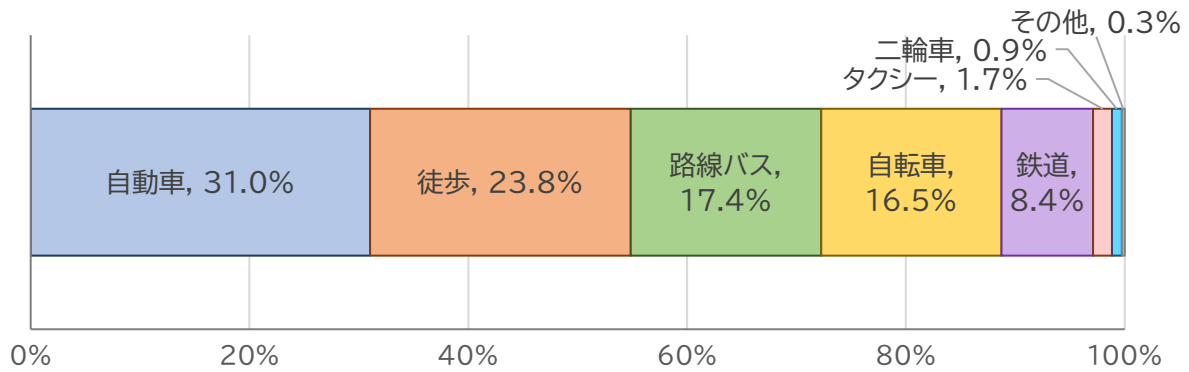
- 通勤・通学に鉄道を使って市外へ行く人のうち、鉄道以外の交通手段を「徒歩」と回答した人は57%であった。
- 次に多いのは、「路線バス」と回答した人で、全体の約4分の1にあたる24%であった。



⑦ 「日常的な買物」で、目的地を「市内」と回答した人の交通手段

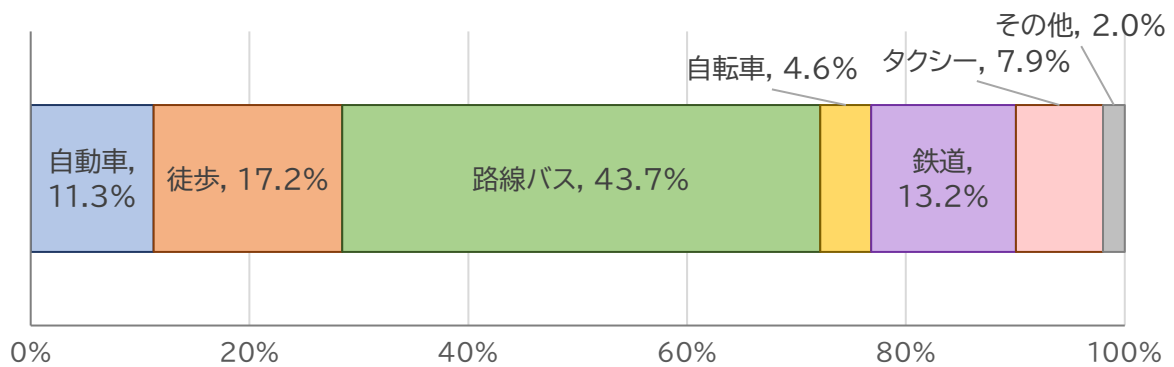
<結果の概要>

- 日常的な買い物で目的地を「市内」と回答した人のうち、約30%の人が自動車で移動していた。自動車で移動する人のうち、約85%が「自分で運転」と回答した。
- 次に多いのは「徒歩」による移動が24%、次に多いのが「路線バス」「自転車」による移動であった。



<結果の概要>

- 通院で目的地を「市内」と回答した人のうち、44%の人が路線バスで移動していた。
- 次に多いのは「徒歩」の移動で17%、次に多いのが「鉄道」「自動車」による移動であった。

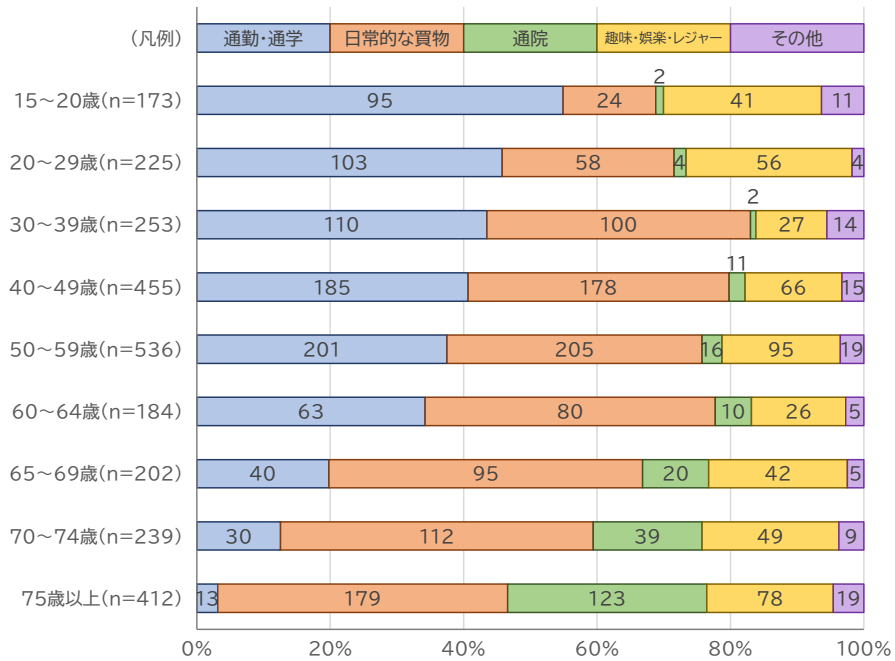


⑨ 年齢と移動目的

〈結果の概要〉

○年齢が低いほど「通勤・通学」を目的とする割合が高く、年齢が上がるほど、「日常的な買物」「通院」を移動目的とする割合が高くなる傾向が見られた。

〈年齢と移動目的（1つ目と2つ目の合計）〉



※図中の数字は回答数を示す。

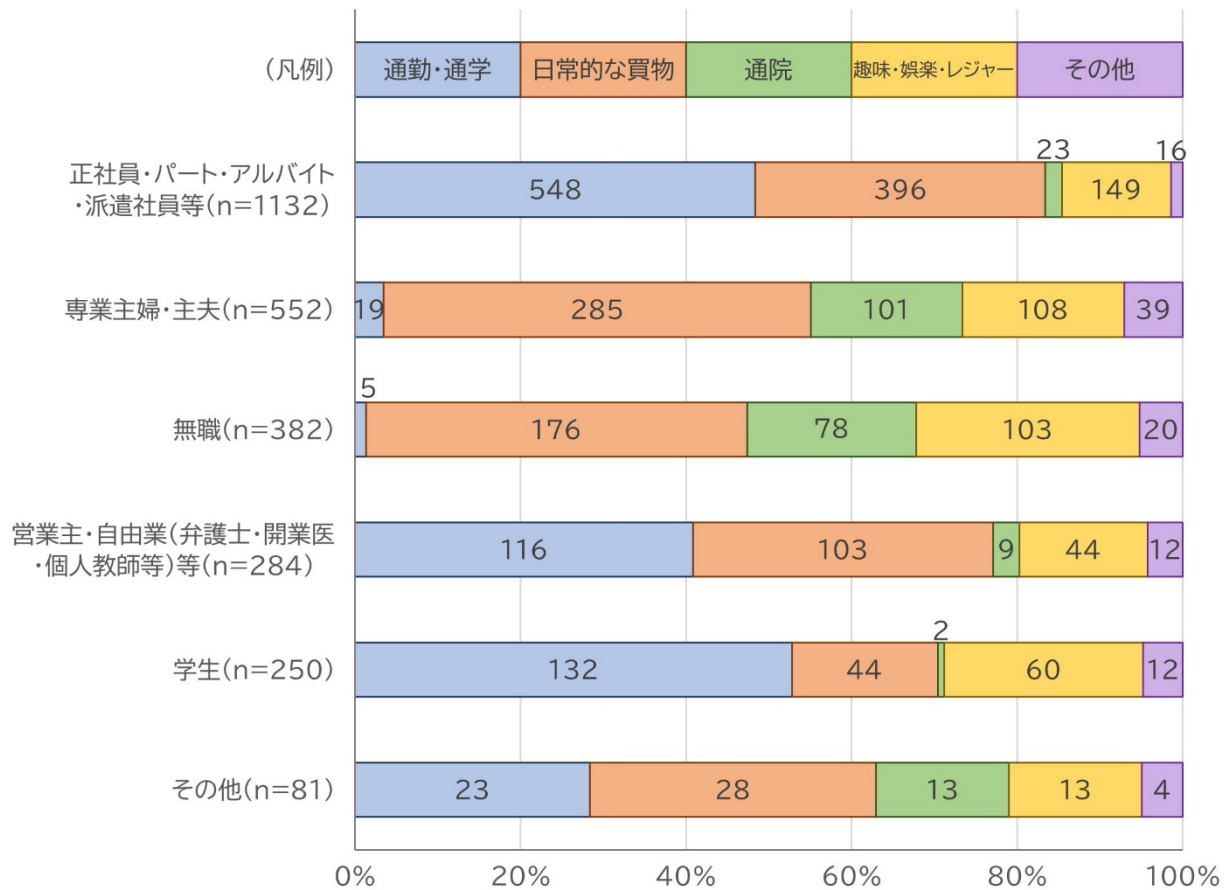
※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

⑩ 職業と移動目的

〈結果の概要〉

○「正社員・パート等」「営業主・自由業等」「学生」の方は「通勤・通学」の割合が高く、「専業主婦・主夫」「無職」「その他」の方は「日常的な買物」の割合が高かった。

〈職業と移動目的（1つ目と2つ目の合計）〉



※図中の数字は回答数を示す。

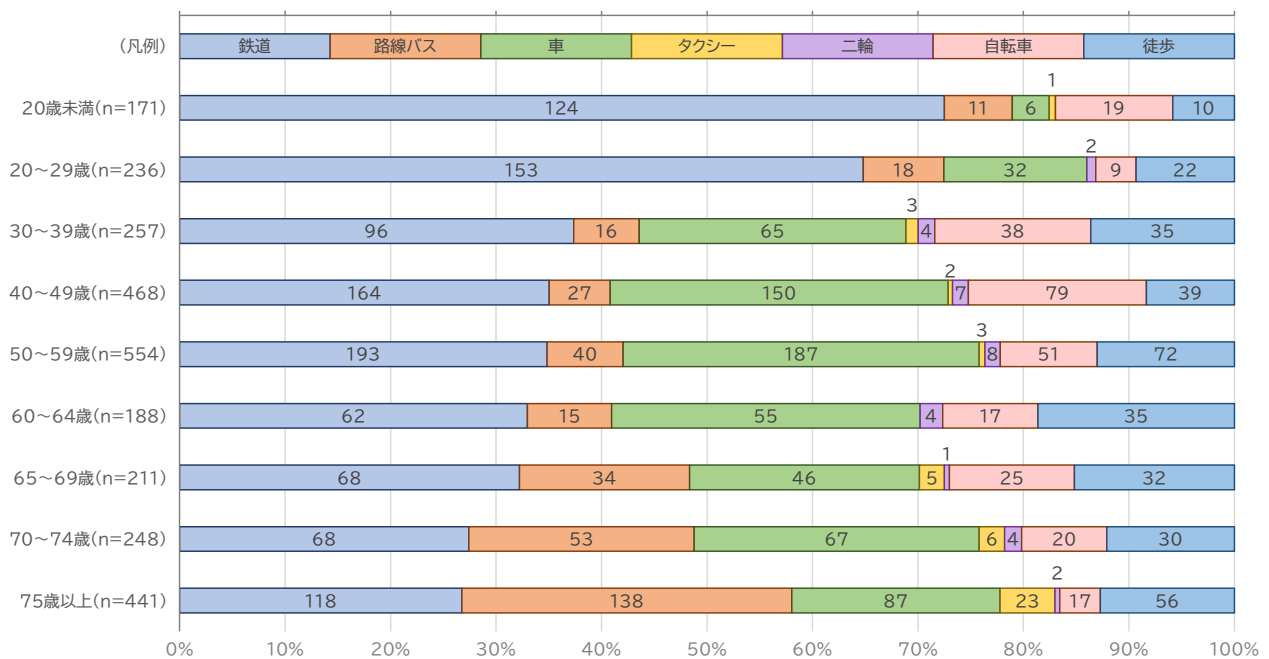
※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

⑪ 年齢と交通手段

〈結果の概要〉

- 20代以下の若い世代では、「鉄道」を利用している割合が高かった。
- 年齢が上がるにつれて、「路線バス」「タクシー」を利用している割合が高くなる傾向が見られた。
- 一方、30歳以上では、車を利用している割合に大きな違いは見られなかった。

〈年齢と交通手段（1つ目と2つ目の合計）〉



※集計は、代表交通手段による。

※「車」には、「自分で運転」「送迎してもらう」の両方を含む。

※図中の数字は回答数を示す。

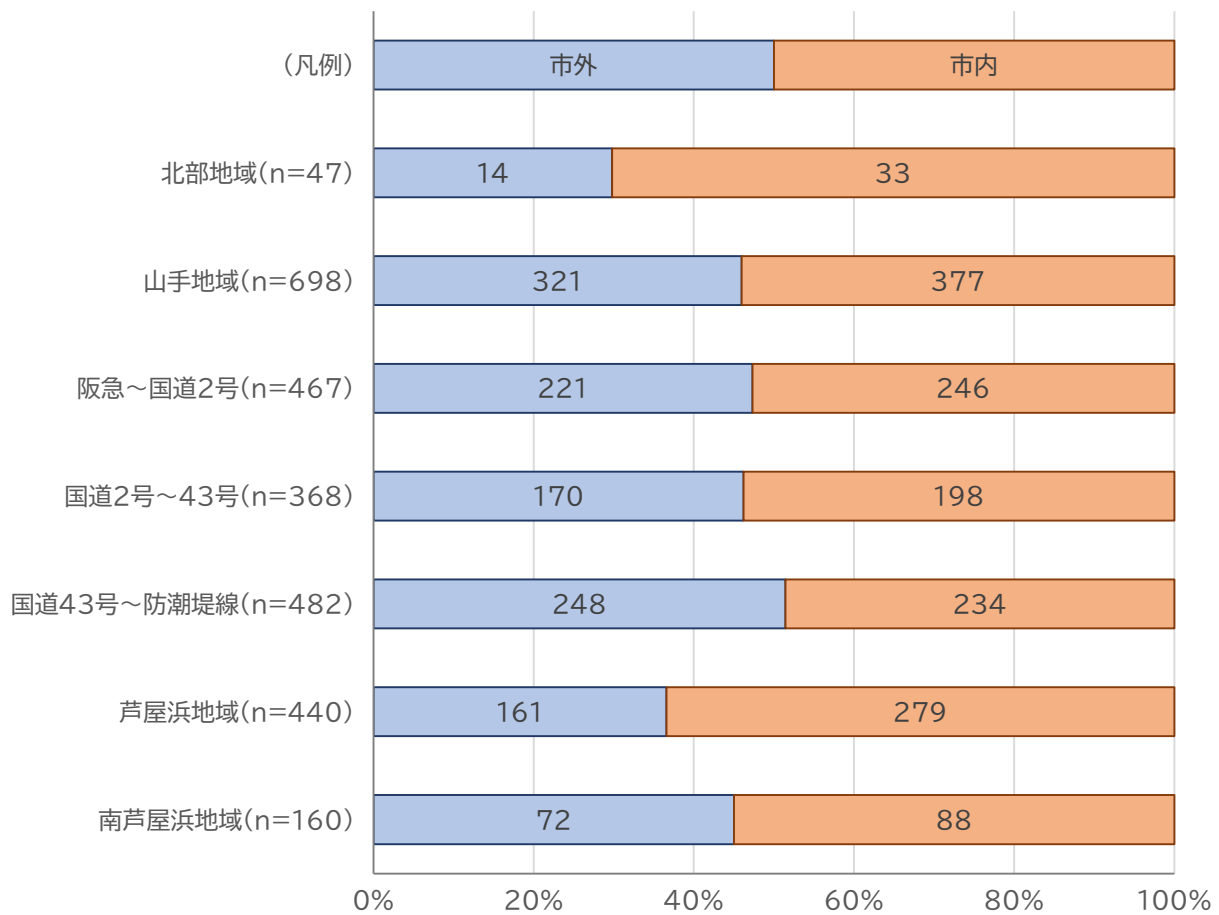
※無回答を除いてグラフを作成している。

⑫ 行き先と居住地

〈結果の概要〉

○「北部地域」「芦屋浜地域」に居住する方の行き先として「市外」を挙げる割合が低くなっていたが、全体として明確な傾向は見られなかった。

〈居住地と行き先（1つ目と2つ目の合計）〉



※図中の数字は回答数を示す。

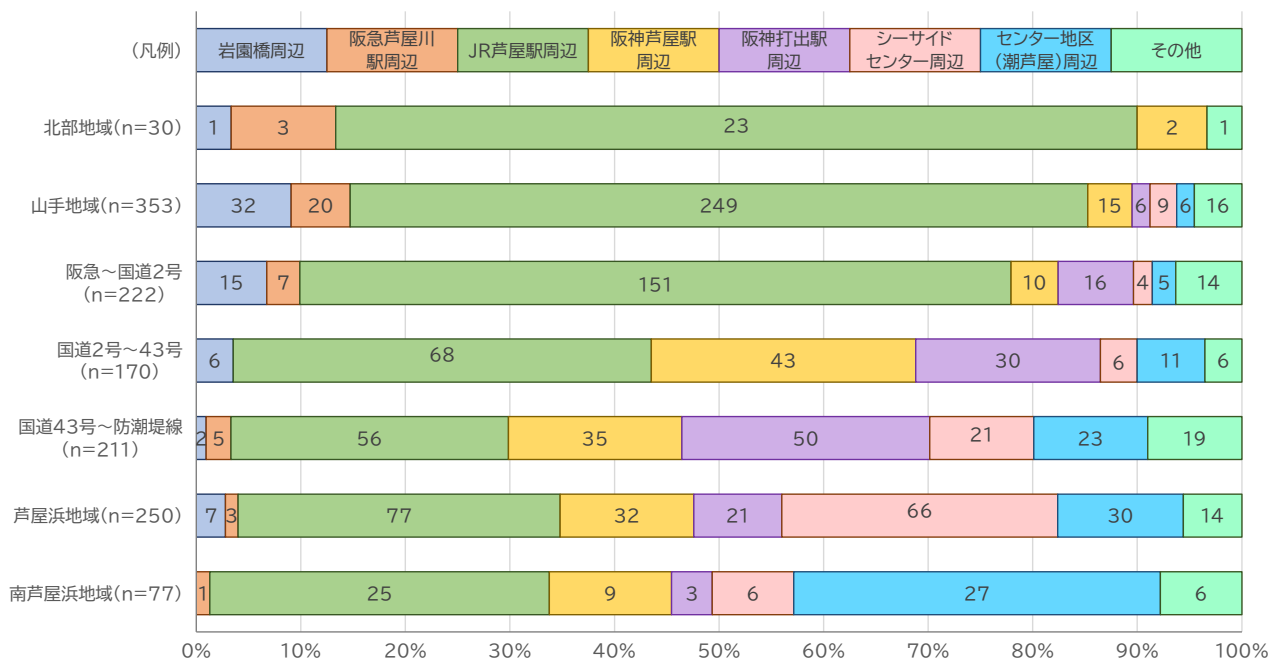
※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。



〈結果の概要：市内の具体的な行き先〉

- 「北部地域」「山手地域」「国道2号～阪急」に居住する方は、「JR芦屋駅周辺」を挙げる割合が特に高かった。
- 「国道2号～43号」「国道43号～防潮堤線」に居住する方は、「阪神芦屋駅周辺」「阪神打出駅周辺」を挙げる方が他地域と比較して多くなっていた。
- 「芦屋浜地域」に居住する方は、「JR芦屋駅周辺」「シーサイドセンター周辺」を行き先として挙げる割合が高くなっていた。
- 「南芦屋浜地域」に居住する方は、「センター地区周辺」を行き先として挙げる割合が高くなっていた。

〈居住地と市内の具体的な行き先（1つ目と2つ目の合計）〉



※図中の数字は回答数を示す。  
※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

(2) 現在の移動に関する不安や不満

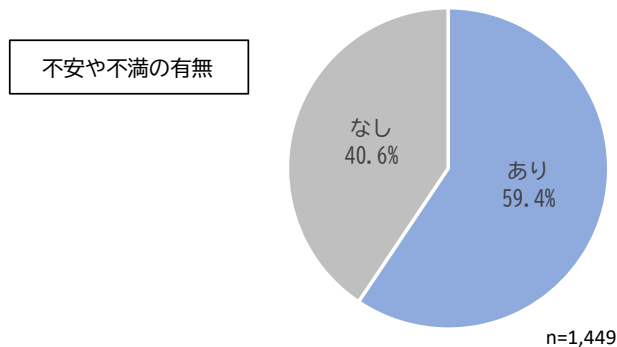
【質問内容】

■現在の移動について、不安や不満があればお書きください。  
(自由記述)

1) 単純集計

〈結果の概要〉

- 回答者のうち、約6割の方が現在何らかの不安や不満があると回答した。
- 移動に関する不安・不満として、路線バスに関するものが非常に多く挙げられた。このことから、市内の移動に対して、路線バスへの関心や興味が非常にあることがわかる。
- その他に歩行者や自転車の移動環境に関する意見、歩行者・自転車・自動車のマナーや交通安全に関する意見、駐輪場や駐車場に関する意見、路上駐車や駅への送迎車両に関する意見等が挙げられた。



■項目別の主な回答内容

分類	概要	意見の数
徒歩	・歩道が狭い、凹凸や雑草がある ・自転車と歩行者が分離されていない	161
自転車	・駐輪場の場所や台数、料金について ・安全な走行空間、利用マナーについて	239
自動車	・運転マナーについて ・渋滞や駅周辺の路上駐車について	236
タクシー	・台数が少ない ・運賃について	46
路線バス	・運行ダイヤや路線、停留所の位置について ・利用方法がわからない	413
鉄道	・駅までの距離が遠い ・運行ダイヤや、駅設備、踏切について	103
道路・移動全般 についての意見	・道が狭い、坂道が多い ・標識、街灯、電柱について	160
その他	・家族に送迎してもらおうのが申し訳ない ・いつまで元気に歩けるか、健康が不安	59

2) 公共交通を利用しない理由

【質問内容】

■公共交通を利用しない方は、その理由があればお書きください。

(公共交通を利用しない方のみ。自由記述)

〈結果の概要〉

○公共交通を利用しない理由として「本数が少ない」が特に多かった他、「運行ダイヤが合わない」「荷物が運べない」「移動の自由度」等を理由として挙げていた。

■頻度の高い移動の目的別の主な回答内容

移動の目的	概要	意見の数
通勤・通学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの本数が少ない</li> <li>・停留所や駅が近くにない</li> <li>・時間がかかる、待ち時間が長い</li> <li>・荷物を運べない</li> </ul>	46
日常的な買物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの本数が少ない</li> <li>・停留所や駅が近くにない</li> <li>・時間がかかる、待ち時間が長い</li> <li>・使う必要がない（目的地が近い等）</li> <li>・自家用車がある、車の方が便利</li> </ul>	125
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力面で乗るのが困難</li> <li>・停留所や駅が近くにない</li> <li>・荷物を運べない</li> </ul>	4

(3) 将来の移動に関する不安

【質問内容】

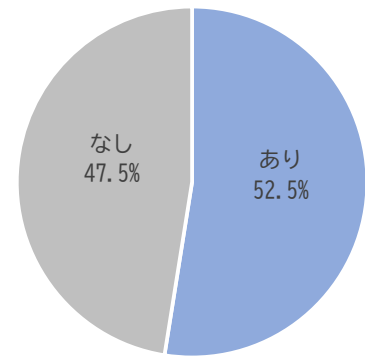
■将来の移動について、不安や困ることがあればお書きください。(自由記述)

1) 単純集計

〈結果の概要〉

- 回答者のうち、約5割の方が将来の移動に何らかの不安があると回答した。
- 不安の内容として、「免許の返納、車を手放す」等、自動車という移動手段を無くすことや、「徒歩移動が困難」のように体力的に移動が困難になることを懸念する内容が挙げられた。
- また、前述の現在の不満と同様に、バスの本数やダイヤ、路線、停留所に関する不安も挙げられた。

将来の移動についての不安



■項目別の主な回答内容

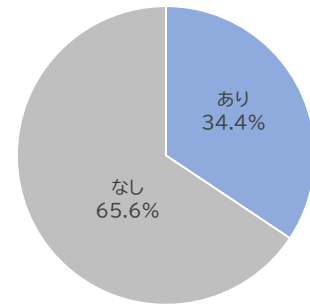
分類	概要	意見の数
徒歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加齢により徒歩移動が困難になる、タクシーを使う必要が出てくる</li> <li>・歩行者の安全性が確保されているか不安</li> </ul>	200
自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・走行環境が悪い</li> <li>・マナーが悪い</li> </ul>	36
自動車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・免許返納する、車の運転が不安になる、車を手放し移動手段に限られる、引っ越しが必要になる</li> <li>・車の維持費が高い</li> </ul>	257
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台数が少ない</li> <li>・運賃が高い</li> </ul>	53
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、減便が不安</li> <li>・運賃の値上がりが不安</li> </ul>	288
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運賃の値上がりやダイヤの減少が不安</li> <li>・階段や段差、転落が不安</li> </ul>	49
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物がしづらくなる</li> <li>・AIやロボットなどの技術を活用して、未来に芦屋で生活する人が安心して生活できるような交通手段を開発してほしい</li> </ul>	221

2) クロス集計

① 現在の移動に不満は無いが、将来の移動に不安や困ることがある人

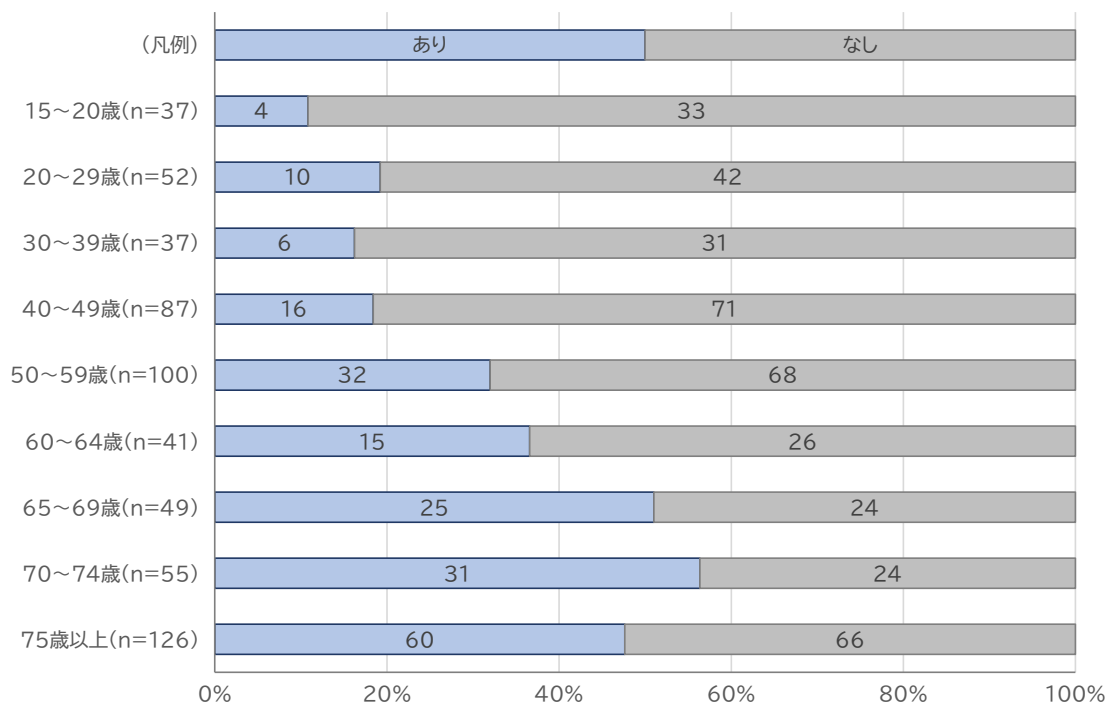
〈結果の概要〉

- 現在の移動に不満が無い方のうち、約 34%の方は将来の移動に不安を持っていた。
- 特に年齢が高くなるほど、将来の移動に不安を持つ方が多くなっていた。



n=588(現在不安が無い回答者)

■年齢と将来の移動への不安や困ることの有無



※図中の数字は回答数を示す。

※無回答を除いてグラフを作成している。

(4) 不安への対処

【質問内容】

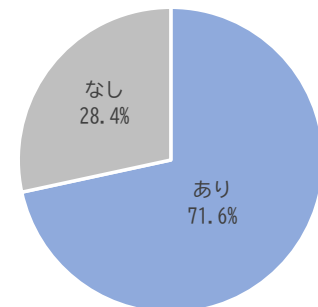
■将来の移動に関する不安や困りごとに対して、どのようにしようと思えますか。（自由記述）

1) 単純集計

〈結果の概要〉

- 将来の不安への対処法について、不安を持っている方のうち約72%の方が何らかの対応を考えていた。
- 不安への対処法として、「タクシーを利用する」と回答した方が最も多く、次いで「健康維持に努める」「通販・宅配サービス等を利用する」と回答した方が多かった。

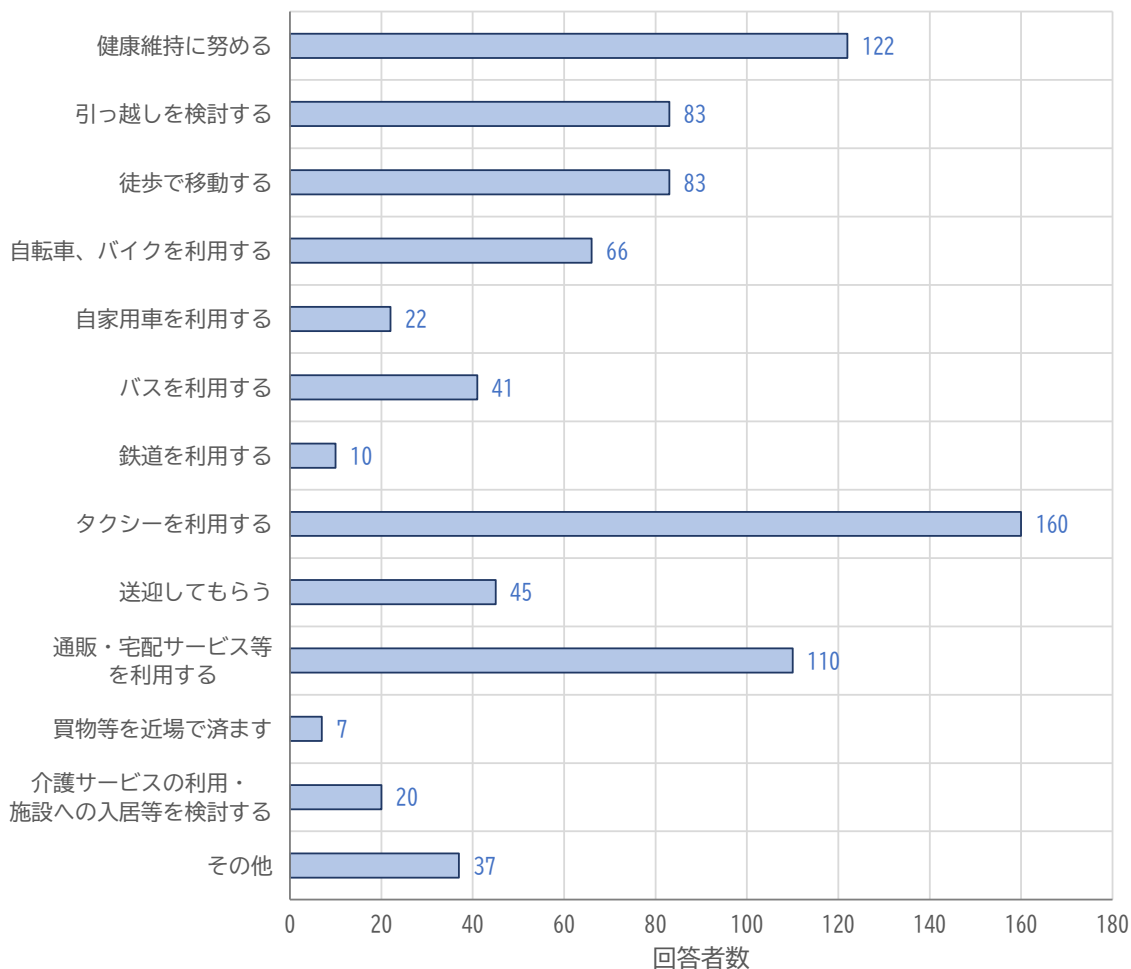
不安への対応策



n=761(将来に不安がある回答者)

※無記入は「なし」に含めてグラフを作成している。

■主な回答内容



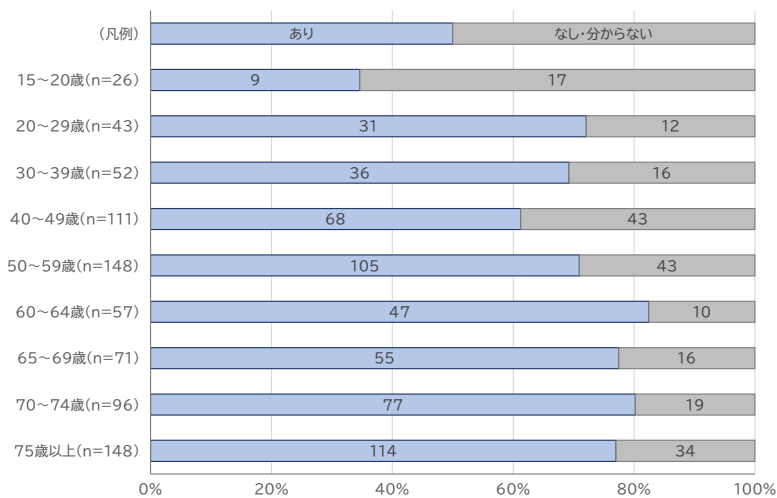
2) クロス集計

① 「年齢」と「不安への対処」

〈結果の概要〉

- 不安への対処法の有無について、60歳以上の方はそれ以下の年齢の方と比較して「対処法がある」と回答した方の割合がわずかに大きい傾向が見られた。
- 具体的な対処法として、年齢が高くなるほど「健康維持に努める」「タクシーを利用する」「通販・宅配サービス等を利用する」と回答した方が多くなっていた。

■年齢と不安への対処法の有無



※図中の数字は回答数を示す。  
※無回答を除いてグラフを作成している。

■年齢別の主な回答内容

年齢	概要	意見の数
20歳未満	・考えていない、わからない、特にない	9
20~29歳	・徒歩、自転車、路線バスを利用する	31
30~39歳	・駅の近くへ引っ越す ・徒歩、自転車を利用する	36
40~49歳	・便利な場所へ引っ越す ・徒歩、自転車、タクシー、路線バスを利用する	68
50~59歳	・駅の近くへ引っ越す ・健康に気を付ける ・徒歩、自転車、タクシーを利用する	105
60~64歳	・宅配サービスを利用する ・健康に気を付ける	47
65~69歳	・宅配サービス、タクシーを利用する ・健康に気を付ける	55
70~74歳	・宅配サービス、タクシーを利用する ・健康に気を付け、徒歩や自転車で移動する	77
75歳以上	・タクシーを利用する ・親族に送迎してもらう ・健康に気を付ける	114

## 2.4 阪神沿線エリアについて

### (1) 利用頻度

#### 【質問内容】

#### ■ 阪神沿線エリアの利用頻度についてお答えください。

(以下について「ほぼ毎日」～「ほぼない」のいずれかを選択)

- ・ 阪神芦屋駅の利用頻度
- ・ 阪神打出駅の利用頻度
- ・ 買い物、食事、通院などで訪れる頻度
- ・ 散歩・散策する頻度
- ・ 公共施設の用事で訪れる頻度
- ・ その他

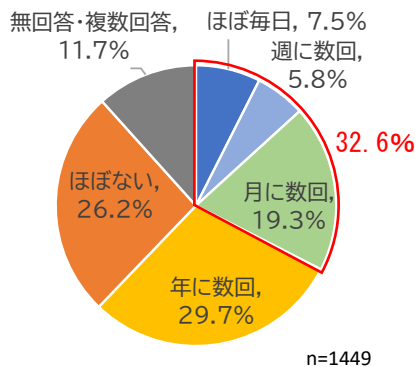
#### 1) 単純集計

〈結果の概要〉(利用頻度が「月に数回」以上の場合、週に1回程度の利用があると考えられるため、日常的な訪問・利用があったとした。)

○「買い物」の目的で日常的にこのエリアを訪問している人が42.9%いた。また、「阪神芦屋駅」「散策」でこのエリアを訪問している人が3割程度いた。

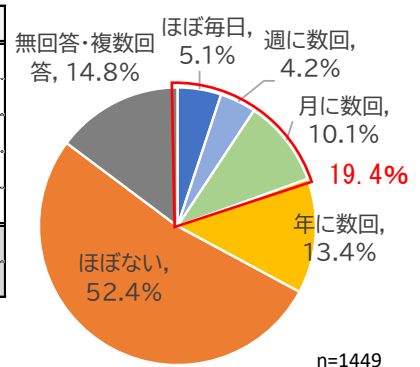
#### ■ 阪神芦屋駅の利用頻度

	合計
ほぼ毎日	108
週に数回	84
月に数回	279
年に数回	430
ほぼない	379
無回答	168
複数回答	1



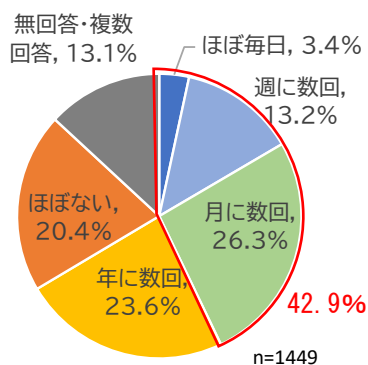
#### ■ 阪神打出駅の利用頻度

	合計
ほぼ毎日	74
週に数回	61
月に数回	147
年に数回	194
ほぼない	759
無回答	213
複数回答	1



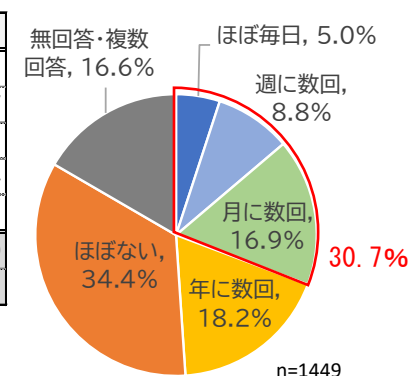
#### ■ 買い物の利用頻度

	合計
ほぼ毎日	49
週に数回	191
月に数回	381
年に数回	342
ほぼない	296
無回答	189
複数回答	1



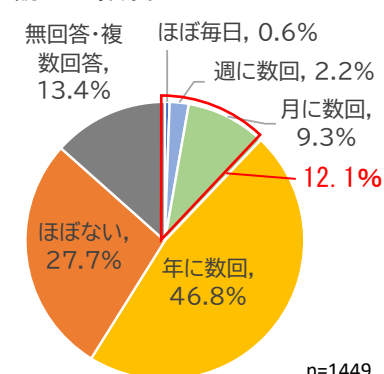
#### ■ 散策の利用頻度

	合計
ほぼ毎日	73
週に数回	127
月に数回	245
年に数回	264
ほぼない	499
無回答	240
複数回答	1



#### ■ 公共施設の用事で訪れる頻度

	合計
ほぼ毎日	8
週に数回	32
月に数回	135
年に数回	678
ほぼない	402
無回答	193
複数回答	1



#### ■ その他の目的など

- 家族の送り迎え
- 市外への移動の経由地として(神戸方面、大阪方面等)
- 自身の習い事のために
- JR 事故時の振り替え輸送のために
- 美容院、ジム等その他の日常生活の用事
- 運動やレジャーのために



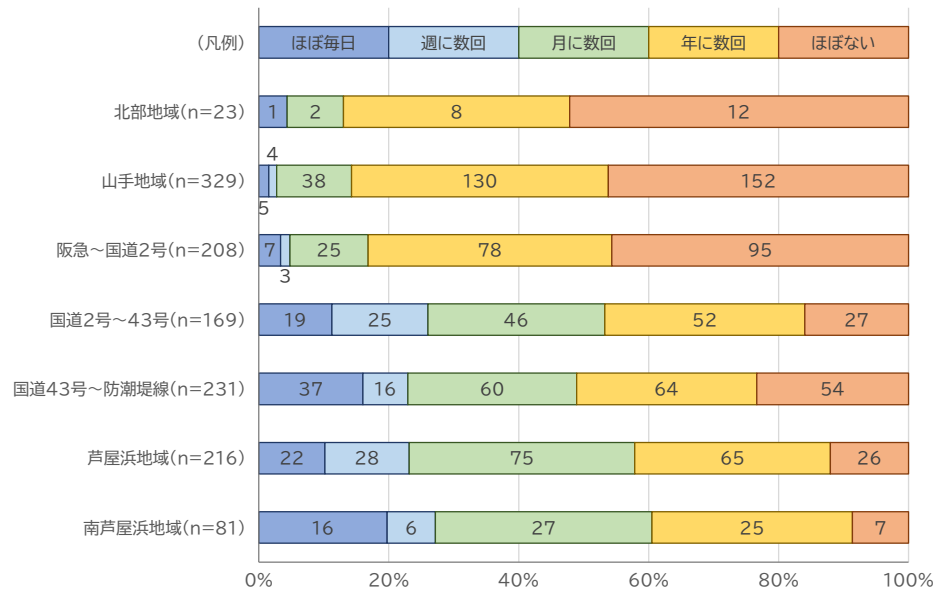
2) クロス集計

① 「居住地」と「利用頻度」

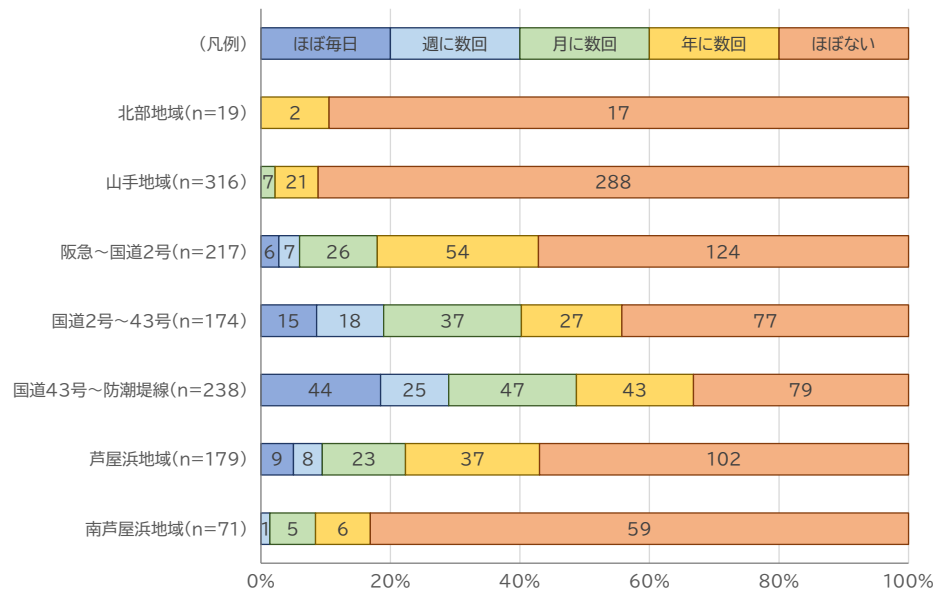
〈結果の概要〉

- 国道2号以南に居住する方は、沿線の利用頻度が高い傾向が見られた。
- 阪神沿線から離れた地域において、日常的な買物で阪神沿線を訪れる人に比べ、散策での利用頻度は低くなっていた。
- 公共施設への用事で訪れる頻度については、居住地地域によらず「年に数回程度」利用すると回答した方が多かった。

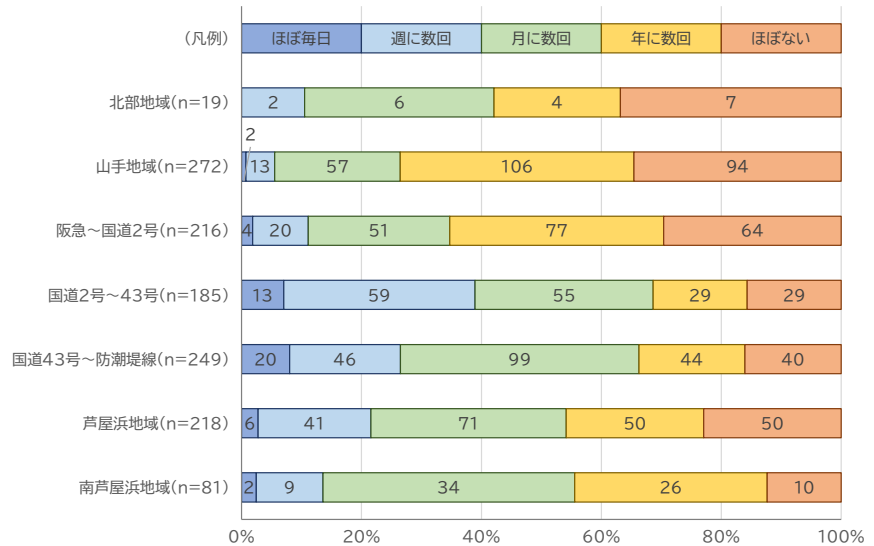
■ 阪神芦屋駅の利用頻度



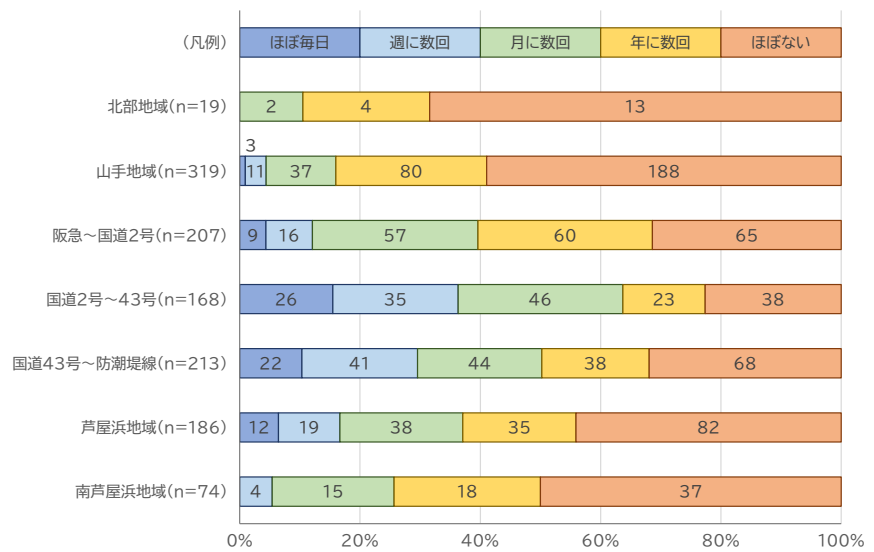
■ 阪神打出駅の利用頻度



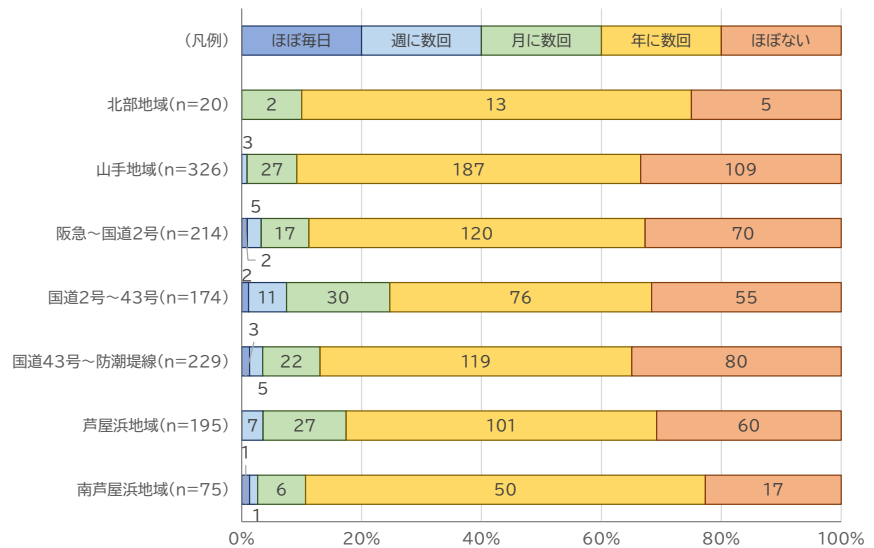
■ 買い物の利用頻度



■ 散策の利用頻度



■ 公共施設の用事で訪れる頻度



※図中の数字は回答数を示す。

※無回答・複数回答を除いてグラフを作成している。

(2) 阪神沿線エリアでの移動に関する不便さ・望むこと

【質問内容】

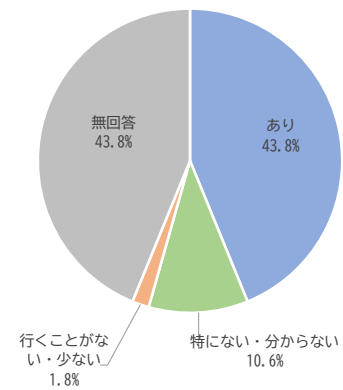
■ 阪神沿線エリアにおいて、移動に関する不便さや望むことなどはありますか。(自由記述)

1) 単純集計

〈結果の概要〉

○ 阪神沿線エリアの移動の不便さ・望むことについて、「道が狭い」と回答した方が最も多かった。その他に、「バスの運行本数・ダイヤ」「踏切や連立」「歩行空間の環境」「自転車の走行空間の環境」に関する不便さ等を挙げる方が多かった。

阪神沿線に望むこと



n=1,449

■ 項目別の主な回答内容

分類	概要	意見の数
徒歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺を歩きやすくしてほしい</li> <li>・ 歩いている、休憩できるスペースが欲しい (ベンチなど)</li> </ul>	143
自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車が走行しにくい</li> <li>・ 駐輪場が少ない、使い勝手が悪い</li> </ul>	161
自動車	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 踏切や国道 43 号の信号で渋滞する</li> <li>・ 駅周辺に送迎用の駐車スペースがない</li> </ul>	122
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バスの本数が少ない</li> <li>・ 希望する目的地へのバス路線がない、時間がかかる</li> </ul>	187
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 踏切の待ち時間が長い</li> <li>・ 踏切が狭くて危ない</li> </ul>	145
道路・移動全般についての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺の道が狭く通行しにくい</li> <li>・ 歩道が狭い、歩道がなく、危険</li> </ul>	169
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅周辺にお店が少ない</li> <li>・ カフェや買い物をできるところが少ない</li> <li>・ 打出商店街をもっと活気のある商店街にしてほしい</li> </ul>	22

## 2.5 市内の移動環境に対する意識

### (1) 市内の移動環境の良くなった点・悪くなった点

#### 【質問内容】

■この5年程度で市内の移動環境が良くなったと感じますか。

また、具体的によくなった点や悪くなった点があればお書きください。

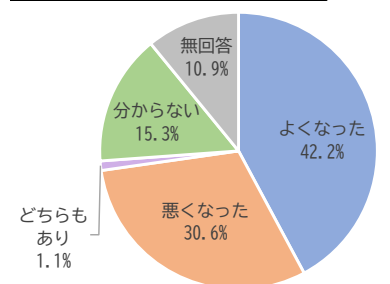
(「どちらかといえばよくなった」「どちらかといえば悪くなった」のいずれかを選択し、具体的な内容を自由記述)

#### 1) 単純集計

##### 〈結果の概要〉

○回答者のうち、移動環境が「よくなった」と回答した方が全体の4割以上となっており、「悪くなった」と回答した方の割合を上回った。

よくなったか、悪くなったか



n=1,449

#### ■項目別の主な回答内容

分類	概要		意見の数
	よくなった点	悪くなった点	
徒歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道ができた、自転車道との分離ができた</li> <li>通学路がカラー舗装された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>無理な横断をする人がいる</li> <li>歩道が狭い、自転車との分離ができていない</li> </ul>	61
自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>走行レーンができた</li> <li>駐輪場の利便性がよくなった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道を走っている、歩道でスピードを出しすぎ</li> <li>駐輪場が高い、空気が少ない</li> </ul>	86
自動車	<ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞が緩和された</li> <li>路上駐車が減った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>南北の移動に時間がかかる</li> <li>駅周辺の送迎車両が多い</li> </ul>	170
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォン対応している</li> <li>待ち時間が短くなっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台数が少ない、待ち時間が長い</li> <li>運賃が上がっている</li> </ul>	19
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線が便利になった、路線により所要時間が短くなった</li> <li>本数が増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本数が少なくなった</li> <li>路線が改善されない</li> </ul>	164
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>JR 芦屋駅舎の工事が進んでいる</li> <li>阪神打出駅のホームが拡幅された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤが不便になった</li> <li>踏切が長時間開かないことがある</li> </ul>	103
道路について	<ul style="list-style-type: none"> <li>無電柱化が進んだ</li> <li>街路樹が管理されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>信号が多い</li> <li>信号の連携が悪い</li> </ul>	75
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の賑わいとゆとりのバランスが取れている</li> <li>お洒落な飲食店が増えた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちに魅力が減ったため、コロナの影響か、人に出会わなくなった</li> <li>南北の移動が不便</li> </ul>	34

(2) 市内の移動環境について感じていること

【質問内容】

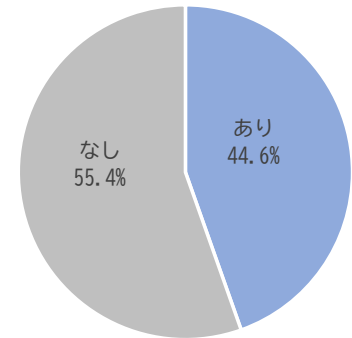
■市内の移動環境について、感じていることをご自由にお書きください。(自由記述)

1) 単純集計

〈結果の概要〉

○移動環境について感じていることとして、「移動全般（南北が移動しにくい、〇〇に行きにくい等）」「道路の管理・整備」「歩行空間の環境・休憩施設」「送迎車両・駐車車両」「バスの本数・ダイヤ」「路線・停留所」等への意見が得られた。

移動環境について  
感じていること



n=1,449

※無記入は「なし」に含めてグラフを作成している。

■主な回答内容

分類	概要	意見の数
徒歩	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者と自動車、自転車を分離して安全に歩行できるようにしてほしい</li> <li>歩道が狭い、歩道がないところがある</li> </ul>	74
自転車	<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車がスピードを出し過ぎている</li> <li>自転車の専用道路、駐輪場を増やしてほしい</li> </ul>	97
自動車	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅周辺に送迎用の駐車スペースがない</li> <li>渋滞が多い</li> </ul>	130
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスの本数が少ない、土日や昼間の本数が少ない、最終バスの時間が早い</li> <li>好きな場所で乗降できるバスが欲しい</li> </ul>	238
鉄道	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅のロータリーがない</li> <li>阪神電車の踏切を立体交差化してほしい</li> </ul>	81
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>料金が高い</li> <li>タクシーが少ない、待ち時間が長い</li> </ul>	16
道路・移動全般についての意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>南北の移動に時間がかかる</li> <li>通行量の多い交差点に対策が必要、信号待ちが長い</li> </ul>	195